

つ つなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



平成25年度

組織目標の成果

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市 対馬 …

～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	4
1	地域再生推進本部	・・・・・・・・	4
2	観光物産推進本部	・・・・・・・・	7
3	総務部	・・・・・・・・	15
4	市民生活部	・・・・・・・・	18
5	福祉保健部	・・・・・・・・	25
6	農林水産部	・・・・・・・・	29
7	建設部	・・・・・・・・	39
8	水道局（部）	・・・・・・・・	41
9	美津島地域活性化センター	・・・・・・・・	42
10	豊玉地域活性化センター	・・・・・・・・	46
11	峰地域活性化センター	・・・・・・・・	50
12	上県地域活性化センター	・・・・・・・・	51
13	上対馬地域活性化センター	・・・・・・・・	55
14	消防本部	・・・・・・・・	58
15	教育委員会事務局	・・・・・・・・	62

平成25年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
推進地域再生部	1	001-01	対馬市市民基本条例の啓発、推進を図ります。	○
	2	001-02	地域マネージャー制度による「地域づくり計画」の策定を進めます。	○
	3	001-03	水ビジネス事業を推進します。	△
観光物産推進本部	4	002-01	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	○
	5	002-02	国際交流イベントをはじめとした交流人口の拡大を図ります。	○
	6	002-03	重点誘致対象分野を絞った企業誘致に取り組みます。	△
	7	002-04	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘に取り組みます。	○
	8	002-05	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。	○
	9	002-06	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	○
	10	002-07	外国人観光客に優しい環境を整えます。	○
	11	002-08	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。	○
総務部	12	003-01	市民協働型の行財政システムの確立を目指します。	△
	13	003-02	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表に努めます。	△
	14	003-03	入札・契約の適正化に努めます。	○
市民生活部	15	004-01	窓口ワンストップ化、窓口受付システムの利用促進を図ります。	○
	16	004-02	滞納処分の強化に努めます。	△
	17	004-03	各主体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	△
	18	004-04	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。	○
	19	004-05	対馬市一般廃棄物処理基本計画（見直し）の策定に取り組みます。	○
	20	004-06	産業基盤の構築と連動しながら自然環境の保全に努めます。	○
	21	004-07	環境基本計画を策定します。	○
福祉保健部	22	005-01	保育料の収納率向上に努めます。	△
	23	005-02	健康つしま21計画の推進に努めます。	◎
	24	005-03	慢性腎臓病（CKD）対策に取り組みます。	◎

部署	コード		目 標	評 価	
	全体	個別			
	25	005-04	市民健診の受診率向上を図ります。	○	
農林水産部	26	006-01	対馬しいたけ再生プラン総合対策支援事業を実施します。	△	
	27	006-02	対馬市森林づくり基本計画、対馬市伐採ガイドラインを策定します。	○	
	28	006-03	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。	○	
	29	006-04	農林産物の鳥獣被害防止及び居住区域内における生活安全対策の確立に努めます。	○	
	30	006-05	学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。	△	
	31	006-06	「海洋保護区」の設定を目指します。	△	
	32	006-07	「対馬食通祭」を開催します。	○	
	33	006-08	魚礁を設置します。	△	
	34	006-09	水産物の輸送費補助を実施します。	◎	
	35	006-10	基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。	△	
建設部	36	007-01	市営住宅使用料の収納計画の策定と未収金の縮小に努めます。	△	
	37	007-02	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	○	
(水道局)	38	008-01	水道料金の収納率向上に努めます。	△	
各地域活性化センター	美津島	39	009-01	窓口サービスの向上に努めます。	○
		40	009-02	管内市営住宅の家賃滞納額の縮減に努めます。	△
		41	009-03	安全・安心のまちづくりを推進します。	×
		42	009-04	水道料金の有収率向上に努めます。	△
	豊玉	43	010-01	イベントと連携した体験型観光を推進します。	○
		44	010-02	観光地の景観維持活動を行います。	○
		45	010-03	窓口の適正な運営及び管内の環境整備に努めます。	△
		46	010-04	税及び水道料金の納付促進に努めます。	△
	峰	47	011-01	管内施設の環境整備に努めます。	○
	上県	48	012-01	地域イベント・ボランティア活動へ参加します。	○
49		012-02	窓口及び電話対応の向上に努めます。	○	

部署	コード		目 標	評 価	
	全体	個別			
各地域活性化センター	上県	50	012-03	庁舎内外の清掃を徹底します。	○
		51	012-04	観光基盤の充実と体験型観光の推進に取り組みます。	○
	上対馬	52	013-01	自然環境の保持及び農林水産業の担い手の育成を図ります。	○
		53	013-02	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進します。	△
		54	013-03	窓口サービスの適正・迅速化に努めます。	○
消防本部	55	014-01	地区消防団の統合及び車両の適正配置を推進します。	○	
	56	014-02	応急手当の普及啓発活動に取り組みます。	△	
	57	014-03	消防救急無線のデジタル化を実施します。	○	
	58	014-04	住宅用火災警報器設置促進の広報及び効果的な立入検査を実施します。	○	
教育委員会事務局	59	015-01	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。	○	
	60	015-02	確かな学力・豊かな心を育む教育活動を推進します。	○	
	61	015-03	スポーツ合宿、スポーツ交流等誘致促進事業を実施します。	×	
	62	015-04	芸術文化鑑賞の機会充実及び市民文化活動の支援に努めます。	○	
	63	015-05	文化財の保護・活用を図ります。	○	

■ 集 計 表

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	3
○	目標どおりの実績	38
△	目標を下回る実績	20
×	目標を著しく下回る実績	2
—	評価不能	0
計		63

全体	No.1
個別	001-01

平成25年度 [地域再生推進本部] 目標の成果

課 名	協働のまちづくり推進グループ
-----	----------------

No.	項 目	対馬市市民基本条例の啓発、推進
	1. 組織目標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>対馬市基本条例を幅広く市民に対し周知していくとともに、市政運営の検証を行い、条例の内容を検討します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市市民基本条例制定記念事業の開催 ・対馬市市民基本条例推進審議会の開催（年2回） 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市市民基本条例推進シンポジウムを2月23日に開催しました。 ・対馬市市民基本条例推進審議会を10月と3月に開催しました。 	
	3. 評 価	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市市民基本条例シンポジウムに市民、各種団体、各種委員の参加を受け“みんなのまちづくりのルール”としての条例を広く周知することができました。 ・対馬市市民基本条例推進審議会にて各委員の様々な視点で市民協働のまちづくりに向けた取り組みを検証し市政に反映できました。 	
	4. 今後の展開	
	引き続き、対馬市市民基本条例推移審議会において、市民協働のまちづくりに向けた取り組みを検証しながら、市政にあった条例の見直し、検討を行っていきます。	

全体	No.2
個別	001-02

平成25年度 [地域再生推進本部] 目標の成果

課 名	協働のまちづくり推進グループ
-----	----------------

No.	項 目	地域マネージャー制度事業による地域づくり計画の策定
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>地域マネージャー制度の定着を図りながら、地域と地域マネージャーの連携による地域住民総意の地域づくり計画を作成します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり計画作成地区目標 5地区 ・地域マネージャー校区会議の実施 年1回 ・リーダー・サブリーダーを主とした市民協働ワークショップの開催 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度内に承認された地域づくり計画はありませんでした。 ・地域マネージャー校区会議を12月に実施しました。 ・9月に外部講師を招いてスキルアップを目的にワークショップの手法に関する研修会を実施しました。 	
	3. 評 価	○
	<p>・地域づくり計画を承認した地区はありませんでしたが、綱島地域(4地区)の計画が26年4月に提出承認しております(25年度中作成)。校区会議で地域マネージャーに対し第二次対馬市総合計画の改訂に向けて、地域づくり計画の位置づけを説明してきたことやスキルアップ研修会等を通して、25年度から地域づくり計画に取り組んだ地区も今後に向けて作成づくりが進んでいくことが予想されます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>引き続き、地域づくり計画の作成が推進できるように、地域マネージャーに対し研修会を開催します。</p>	

全体	No.3
個別	001-03

平成25年度 [地域再生推進本部] 目標の成果

課名	地域力再生推進グループ
----	-------------

No.	項目	水ビジネス事業の推進
	1. 組織目標	<p>【内容】 一般県道瀬浦巖原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、水ビジネスを展開した新たな雇用創出の可能性を探ります。</p> <p>【指標】 平成24年度に実施した、市場調査等に基づき、事業化に向けての可能性の検討及び施設整備事業費等の算出を実施します。</p>
	2. 実績(成果)	<p>平成24年度に実施した湧出量、市場調査、流通状況、事業化に向けた前提条件の整理等の調査報告書に基づき、具体的な事業化の検討、事業費の算出、原価計算等の調査業務発注を予定していましたが、水ビジネス事業に興味を示した企業との協議が不調に終わったことにより実施に至りませんでした。</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>企業訪問等を実施し、参入意向のある企業と事業化に向けた協議検討を行いました。が、不調に終わったことにより、前進した取り組みが出来ませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>前提条件の整理はできていることから、全国の先進地域の経営状況、運営状況等を把握するとともに、採算性を考慮しながら、新たな事業主体の選定に向け関連企業へのアプローチを行います。</p>

全体	No.4
個別	002-01

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】 昨年度、対馬の観光ガイドブックの日本語版をリニューアルし、文字も見やすいようにとA4サイズで作成しました。本年度は増大している韓国人観光客向けに韓国語版を作成していきます。また、既存の対馬PRポスターを対馬の観光資源を活用し、よりインパクトのあるものを作成していきます。</p> <p>その他、昨年度作成したスマートフォンで利用する韓国語観光アプリケーションを活用し、日本語・英語版のアプリケーション作成も同時に行い、より一層の情報システムの構築を目指します。</p> <p>また、主に外国人観光客の満足度向上・消費拡大を図るため公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光ガイドブック（韓国語版）の作成 20,000部 ・日本人及び英語圏観光客に向けた対馬の観光地案内や、買い物飲食店情報などを発信し、消費拡大するためのアプリケーションを制作します。 ・公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）をおこない外国人観光客の満足度向上および消費拡大を図ります。
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光ガイドブック（韓国語版）を作成しました。 20,000部 ・日本人及び英語圏観光客に向けたアプリを制作しました。 ・公衆無線LANサービス環境整備（Wi-Fi）を実施しました。
	3. 評 価	○
		<p>目標指標をほぼ確実に実施する事が出来、国内外への情報ツールが拡充されました。この事により対馬を訪れる観光客は基よりビジネス客、市民にとっても手厚いサービスを受けることが出来、満足度の向上につなげることが出来たと考えます。</p>
	4. 今後の展開	<p>当面、アナログ・デジタル化による情報発信システムは構築されました。今後はこれらのシステムを多くの方へ知っていただけるように周知しながら、また情報の更新を行いより一層便利で多くの方々に利用いただける情報発信システムになるよう整備を進めていきます。</p>

全体	No.5
個別	002-02

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大												
	1. 組織目標													
		<p>【 内 容 】</p> <p>①仏像問題で影響が心配されますが、対馬3大イベントをはじめとする国際交流イベントをバランス良く開催支援し、国内外へ対馬をアピールし交流人口の拡大を図ります。</p> <p>②通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国人観光客の増加を図ります。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,200人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">30,000人</td> </tr> <tr> <td>・対馬ちんぐ音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">600人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">150,000人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,200人	・対馬厳原港まつり	観客数	30,000人	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	600人	・韓国人観光客数		150,000人
・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,200人												
・対馬厳原港まつり	観客数	30,000人												
・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	600人												
・韓国人観光客数		150,000人												
	2. 実績(成果)													
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">約1,388人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">約30,000人</td> </tr> <tr> <td>・対馬ちんぐ音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">約280人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">約180,000人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	約1,388人	・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	約280人	・韓国人観光客数		約180,000人
・国境マラソンIN対馬	参加者数	約1,388人												
・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人												
・対馬ちんぐ音楽祭	観客数	約280人												
・韓国人観光客数		約180,000人												
	3. 評 価	○												
		<p>国境マラソン、対馬厳原港まつり、韓国人観光客数が目標を上回ることができました。特に、韓国人観光客数は目標を大きく上回る観光客数が対馬を訪れており、今後も観光客数の増加を図っていきます。</p> <p>その一方で、対馬ちんぐ音楽祭については、今年度屋内ステージでの実施となった影響もあり、観客数が昨年度を下回りました。開催内容や今後の運用形態等も含め再度検討が必要と考えます。</p>												
	4. 今後の展開													
		<p>引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘致に努めていきたいと思えます。特に、対馬ちんぐ音楽祭については、今後の展開についての協議が必要と考えられるため、実行委員会との連携を密にし、運営や実施内容について再編をしていきたいと考えています。</p>												

全体	No.6
個別	002-03

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	本 部
----	-----

No.	項 目	重点誘致対象分野を絞った企業誘致
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>地域経済の活性化や若者の島内定住、雇用創出などを促進するため、対馬の自然（海、山、里）が生み出す資源、素材を活用した「農林水産業関連の企業」をはじめ、「情報通信関連企業」「旅館業等観光関連産業」を重点対象分野としています。</p> <p>その中でも昨年度に引き続き、韓国からの観光客急増に伴い、宿泊施設に対する緊急的な対応として、宿泊施設の誘致に取り組みます。長期的な取り組みとしては、昨年度から募集している「三宇田地区宿泊事業者募集」を継続し、北部対馬の振興につながるホテル誘致を目指します。また公園事業計画に向けて長崎県との協議を継続します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>三宇田地区宿泊事業者候補企業に1社を設定し交渉を開始します。</p>
	2. 実 績（ 成 果 ）	<p>三宇田地区宿泊事業者候補企業に1社を設定し交渉をすることができませんでした。自然公園法の保護規制を緩和するため公園事業計画策定に向けて、長崎県と協議を行いました。</p>
	3. 評 価	△
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>引き続き三宇田地区ホテル用地宿泊施設事業者の候補企業について、縁故地縁等の情報を頼り、企業と接触していくとともに、宿泊施設の規模や形態についても再考していきます。</p>

全体	No.7
個別	002-04

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	本部
----	----

No.	項目	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘
	1. 組織目標	<p>【内容】 長崎県内のしま市町で共通に利用できる20%のプレミアム付商品券 島外からの観光客・ビジネス客を対象に市町の加盟店（対馬島内約160店舗）で利用できる「しまとく通貨」を販売し、離島での消費拡大を図ります。</p> <p>【指標】 ◎しまとく通貨のPR（広報誌 7月号・11月号）・各種イベントでのPR ◎加盟店勧誘 5店舗増</p>
	2. 実績(成果)	<p>◎広報誌7月号に掲載しPRを行いました。 ◎首都圏でのPRを行うとともに各種イベントにおいてPRを実施しました。 ◎平成25年度末の加盟店数は、209店舗になりました。</p>
	3. 評価	○
		<p>指標について、数値目標のとおりほぼ達成することができました。 広報誌及び各種イベントでのPRをするとともに、加盟店についても増加することができました。</p>
	4. 今後の展開	<p>事業開始2年目となるので、さらなるPR活動の強化と加盟店の増加に努め、観光客等の誘客と消費の拡大を図ります。</p>

全体	No.8
個別	002-05

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名	本 部
-----	-----

No.	項 目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。								
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。特に今年度は4年に1回開催の食博覧会・大阪への出展や市制10周年記念イベントとして開催します。</p> <p>福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。</p> <p>本年11月オープン予定の「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。</p> <p>「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・九州管内での物産展等の開催</td> <td style="text-align: right;">5回以上</td> </tr> <tr> <td>・各種物産展の企画・出展・斡旋</td> <td style="text-align: right;">10回以上</td> </tr> <tr> <td>・対馬特産品取扱店舗開拓</td> <td style="text-align: right;">20店舗</td> </tr> <tr> <td>・海山交流イベント</td> <td style="text-align: right;">4回</td> </tr> </table>	・九州管内での物産展等の開催	5回以上	・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上	・対馬特産品取扱店舗開拓	20店舗	・海山交流イベント	4回
・九州管内での物産展等の開催	5回以上									
・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上									
・対馬特産品取扱店舗開拓	20店舗									
・海山交流イベント	4回									
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の物産展では、主に福岡県内で7回、東京3回、長崎2回、大阪2回、その他多数の出展・出品を行いました。(合計18回) ・福岡や京都等で対馬特産品取扱店舗の開拓ができました。 ・海山交流イベントでは、熊本県山江村と3回、岐阜県中津川市と3回の交流事業を行いました。 								
	3. 評 価	○								
		<p>指標については、数値目標をほぼ達成できました。物産展への出展により、消費者の求める商品が把握でき、売れる商品づくりに繋がりました。また飲食店やホテル等への食材提供により、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>								
	4. 今後の展開	<p>継続して物産展を開催・出展することで、知名度の向上を図るとともに都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会等を開催し、売上げの増加に繋がっていきます。</p>								

全体	No.9
個別	002-06

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	本部
----	----

No.	項目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。
	1. 組織目標	
	【内容】	市内商店街は、人口減少や大型店の出店などにより依然としてにぎわいが低迷しています。しかし昨年は約15万人の韓国人観光客が来島しました。これら急増している韓国人観光客及び今年度より実施をします「しまとく通貨」など交流人口の拡大によるプラス環境を十分に活かします。そのため、各種普及啓発（研修会等の開催等）及び商工業支援事業を実施するとともに、資金面における下支えも行い、商業地域を中心としたにぎわいづくりを行います。
	【指標】	
	商店街活性化の研修会等の開催	年3回
	商工業活性化の協議	年3回
	対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金	
	対馬市農商工連携支援事業補助金	
	対馬市小規模企業融資補助金	
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・商工業活性化の協議を行いました。(3回) ・商店街活性化にぎわい創出事業を実施しました。(4件 採択) ・対馬市農商工連携支援事業補助金 (1件 採択)
	3. 評価	○
		<p>指標については、ほぼ達成できました。</p> <p>商工業の活性化を目的に説明会やNAGASAKI起業家大学「短期セミナー」を実施することで、商業支援等の各種支援策、助成事業を知ってもらうことができました。また、商店街にぎわい創出支援事業では地域住民を集めたイベントを実施するなど、にぎわいを創出することができました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>創業、起業等の支援を積極的に行いつつ、現状の商工業の活性化を目指して研修会や商工業活性化の協議を実施していきます。また、中心市街地の活性化のために島のタウンマネージャーを採用し、地域の魅力を向上させ、まちなかからにぎわいを創出していきます。</p>

全体	No.10
個別	002-07

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	上対馬観光物産事務所
----	------------

No.	項 目	外国人観光客に優しい環境を整えます。						
	1. 組織目標							
	<p>【内容】</p> <p>①カードの使える店舗を増やす。 対馬では両替ができないためカード端末機の設置店舗を増やし、買い物のしやすい環境を整えます。</p> <p>②韓国語講座の実施 韓国への理解と気軽に観光客に声を掛けられる住民が増えることにより、安心して観光できる環境をつくります。</p> <p>③おもてなし座談会の実施 外国人観光客を迎える環境整備のため、座談会において情報を共有し、問題解決を図ります。</p> <p>【指標】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">①カード端末機新規設置店舗数</td> <td style="width: 20%;">5店舗</td> </tr> <tr> <td>②韓国語講座受講者数</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>③座談会の開催回数</td> <td>2回</td> </tr> </table>	①カード端末機新規設置店舗数	5店舗	②韓国語講座受講者数	30人	③座談会の開催回数	2回	
①カード端末機新規設置店舗数	5店舗							
②韓国語講座受講者数	30人							
③座談会の開催回数	2回							
	2. 実績(成果)							
	<p>①上対馬管内で店舗を構える経営者に対し、クレジットカード決済に関する聞き取りアンケートを実施しました。(56店舗) その結果をもとにクレジットカード端末機未設置店舗へ個別に趣旨説明をし導入をすすめました。(新規設置5店舗)</p> <p>②韓国語講座を前期と後期に分けて4コース各10回実施 トータルの講座回数80回、受講者数95名(前期52名、後期43名)</p> <p>③座談会は未実施</p>							
	3. 評価	○						
	<p>①②については目標を達成し、確実に受け入れ態勢は整ってきています。 また、②について成人対象の講座とは別に、小・中・高校へ出向き韓国語はもとより文化・風習などの講義も行い幅広い年代に韓国への理解を求められたのではないかと考えます。</p> <p>③の座談会は実施できなかったものの、今年度は外国人を含めた観光客に対する環境整備に向けワークショップを開催しました。また、地域住民や事業者その他まちづくり団体との協働作業により、基本的考え方や整備イメージを検討しました。(上対馬地区リゾート計画)</p>							
	4. 今後の展開							
	<p>外国人観光客が地域振興の大きな鍵となっており、今後もその動向や課題等を的確に把握し、ニーズにあった観光地として地域住民とともに取り組んでいきます。</p>							

全体	No.1 1
個別	002-08

平成25年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課名	福岡事務所
----	-------

No.	項目	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>一人でも多くの対馬ファンを獲得し、認知度アップに繋げるため、ホテル、飲食店等を回り、対馬サポートショップを獲得していきます。</p> <p>また、福岡の女性に対してコアなファンを獲得するため、「つしまドンナ」を結成し、旅行客の増大を図り対馬の地域経済の活力向上を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つしまチカラサポートショップ 60店舗 ・「つしまドンナ」 6名認定 ・ブログ更新とアクセス数（月間平均）のアップ 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・つしまチカラサポートショップに46店舗登録。 質が高い店舗（積極的に対馬のPRを行ってくれる店舗）を重点的に事業展開しました。 ・つしまドンナ6名認定。 つしまドンナ認定後、つしまドンナの方向性、平成26年度から実施するつしまドンナの応募条件等について会議を実施しました。 ・ブログアクセス数：9,400アクセス/月。 	
	3. 評価	○
	<p>つしまチカラサポートショップの登録は目標を下回りましたが、質が高い店舗（早く対馬のPRを行ってくれる店舗）を重点的に事業展開を行いました。</p> <p>しかし、登録後のサポートショップの活動を十分に把握できていないという状況です（飲食店は夜間営業が多いため）が、対馬の食および観光PRという意味では感触がうかがえます。</p> <p>また、つしまドンナについては、平成25年度に6名を認定し、平成26年度から実施する「つしまドンナ」の応募条件等の会議・協議を行いました。</p> <p>ブログアクセス数は月平均が9,400アクセスでした。対馬の「！」な情報を周知することができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>対馬観光物産協会囑託職員と連携し、一人でも多くのコアな対馬ファン獲得を図ります。</p> <p>そのため、ブログで対馬の「！」を一つでも多く、情報発信していきます。</p> <p>また、口コミ情報発信力強い女性を、つしまドンナを認定することで、対馬の「！」を情報発信してもらいます。</p>	

全体	No.1 2
個別	003-01

平成25年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	市民協働型の行財政システムの確立を目指します。
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	市民と行政の連携による質の高い協働型市政を確立するため、合併から今日まで取り組んできた行財政改革を継続しつつ、足腰の強い財政基盤を構築し、地域の特性を活かした自立性、独自性のある自治体運営を目指します。
	【 指 標 】	① (仮称) 組織計画の策定実施 ② (仮称) 業務改善計画の策定 ③ 施設使用料の見直し
	2. 実 績 (成 果)	
		組織計画については、新組織機構の平成26年4月からの実施に向け、区長会議、地域審議会、関係地区説明会等を開催し市民に向けた周知に努めるとともに、業務に係る調整会議等を行い、平成26年4月1日から新組織機構での業務を開始することができましたが、他の指標については、出来ませんでした。
	3. 評 価	△
		地域活性化センターの統合、教育委員会事務局などの本庁位置の変更、出張所の見直しなど、合併後の見直しの中でも大規模となる組織機構の見直しは実施できましたが、他の取り組みについては目標に至りませんでした。
	4. 今 後 の 展 開	
		新たな組織機構となってからの業務形態について状況把握に努め、市民サービスへの影響を最小限とするよう業務改善に努めます。また、平成26年度については、未実施分の実施とともに、第2次対馬市行財政改革大綱の最終年度となることから、第3次計画に向けた取り組みを進めます。

全体	No.1 3
個別	003-02

平成25年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	健全な財政運営の執行と財政状況の適切な開示																		
	1. 組 織 目 標																			
		<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。また、今年度から当初予算の概要版を作成し、各世帯に配付します。 ・将来の公債費抑制を図るため、借入方法等（償還年数、据置期間等）に関する情報を収集し、研究を進めるとともに、積極的な繰上償還を実施します。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算、決算の状況について広報、ホームページに掲載 																		
	2. 実 績 (成 果)																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況等公表状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">公表項目</th> <th style="width: 20%;">ホームページ</th> <th style="width: 20%;">市報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度当初予算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○ (概要版)</td> </tr> <tr> <td>平成24年度下半期及び平成25年度上半期予算の執行状況</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成24年度決算</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成24年度財務諸表</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上償還 1,000,000千円 	公表項目	ホームページ	市報	平成25年度当初予算	○	○ (概要版)	平成24年度下半期及び平成25年度上半期予算の執行状況		○	平成24年度決算		○	平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率	○		平成24年度財務諸表	×	
公表項目	ホームページ	市報																		
平成25年度当初予算	○	○ (概要版)																		
平成24年度下半期及び平成25年度上半期予算の執行状況		○																		
平成24年度決算		○																		
平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率	○																			
平成24年度財務諸表	×																			
	3. 評 価	△																		
		<p>中期財政計画に基づく財政運営に努めながら、税金等の貴重な財源を、どのような事業に使ったかなど、当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと 平成25年度の予算」を作成し、区長会議で配付するとともに、ホームページで公表しました。また、平成24年度の決算状況についても広報に掲載しました。平成24年度の財務諸表については、作成作業が遅れ、平成25年度内の公表に至りませんでした。</p>																		
	4. 今 後 の 展 開																			
		<p>今後も健全な財政運営に努め、市の財政状況、予算、決算について市民にわかりやすい形で公表していきます。また、積極的な繰り上げ償還を実施し、将来の公債費負担を抑制します。</p>																		

全体	No.1 4
個別	003-03

平成25年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	入札・契約の適正化
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、本年度は、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。</p> <p>さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じ、改めるよう努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設工事入札の最低制限基礎価格の乗率を90%とすることを 継続し、さらに今年度よりコンサル業務、役務についても最低制 限価格を設定し、適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・ 現入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じ改めます。 <p>また、業者の格付けについても検証し、必要に応じ改めます。</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事147件、建設工事関連コンサルの入札96件、物品・役務等82件で、平均落札率は、建設工事では91.43%で、コンサルでは84.86%で、物品・役務等では、80.35%でした。</p> <p>入札についての合理的な基準を定めた対馬市建設工事等入札制度合理化対策要綱及び市内に支店等を有する業者の取扱に関する要綱を定めました。</p> <p>また、地方自治法の規定による長期継続契約を締結することができる契約を定める条例及び規則を定めました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>建設工事の落札率は、91.43%で、ほぼ昨年と同等であり、適正に推移しているものと考えます。</p> <p>また、対馬市建設工事等入札制度合理化対策要綱及び市内に支店等を有する業者の取扱に関する要綱の制定により、建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を図ることができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>① 建設工事においては、低入札価格調査対象外価格を廃止し、最低制限価格に改め、一般競争入札を原則とします。また、コンサル業務及び役務についても最低制限価格を設定し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>② 入札契約制度を常に検証し、公正性・公平性・客観性を追求し、制度の構築に努めます。</p>

全体	No.15
個別	004-01

平成25年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	市民課
----	-----

No.	項目	窓口ワンストップ化、窓口受付システム利用促進
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 市役所の全体業務を把握し、来訪者への適正な説明、案内に努め、窓口ワンストップ化を推進します。 窓口受付システムの利用促進に努めます。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な窓口サービスの徹底 窓口受付システムの新規カード発行件数年間100件
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 窓口サービスについては、庁舎内外を問わず市民が必要とする情報の提供に努め、苦情等は見られませんでした。 マイナンバー制度の導入に伴い、交付済の住基カードの回収と再交付が予測され利用拡大が図れなかった反面、5郵便局の証明書交付事務の導入を図り、新年度からの市民の利便性向上を実現することができました。
	3. 評価	○
		市民課窓口は、職員一丸となり接遇等の向上を図り、積極的な声掛けに努めており一応の成果が出たと考えます。
	4. 今後の展開	<p>昨年度に引き続き、積極的な窓口サービスを展開し、市民のニーズに沿った窓口づくりを行います。各窓口センター、郵便局の証明書交付事務は事務の現状を把握し、迅速かつ正確な事務を実現します。</p>

全体	No.16
個別	004-02

平成25年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	税 務 課
-----	-------

No.	項 目	滞納処分の強化																								
	1. 組 織 目 標																									
		<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。 ・臨戸徴収から自主納付(口座振替等)への推進 ・不動産公売の強化 <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">25年度目標</td> <td style="width: 15%;">市 税</td> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">96.50%</td> <td style="width: 15%;">前年度実績</td> <td style="width: 15%;">96.34%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>15.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>11.92%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国 保 税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>92.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>90.57%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>12.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>11.97%</td> </tr> </table>	25年度目標	市 税	現年分徴収率	96.50%	前年度実績	96.34%			滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.92%		国 保 税	現年分徴収率	92.00%	前年度実績	90.57%			滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	11.97%
25年度目標	市 税	現年分徴収率	96.50%	前年度実績	96.34%																					
		滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.92%																					
	国 保 税	現年分徴収率	92.00%	前年度実績	90.57%																					
		滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	11.97%																					
	2. 実 績 (成 果)																									
	平成25年度実績	目標徴収率に対する差																								
	市 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.02%</td> <td style="width: 15%;">0.52%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.72%</td> <td>△ 4.28%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	97.02%	0.52%	滞納分徴収率	10.72%	△ 4.28%																		
現年分徴収率	97.02%	0.52%																								
滞納分徴収率	10.72%	△ 4.28%																								
	国 保 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">90.44%</td> <td style="width: 15%;">△ 1.56%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>9.79%</td> <td>△ 2.21%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	90.44%	△ 1.56%	滞納分徴収率	9.79%	△ 2.21%																		
現年分徴収率	90.44%	△ 1.56%																								
滞納分徴収率	9.79%	△ 2.21%																								
	差押実績	(平成25年度) (平成24年度) 増減																								
	・一般(預金・生命保険・給与等)	269件 359件 △ 90件																								
	・不動産(搜索含む)	27件 51件 △ 24件																								
	計	296件 410件 △ 114件																								
	滞納処分の停止実績	127件 144件 △ 17件																								
	口座引落件数	38,524件 38,061件 463件																								
	不動産公売実績	13件中7件 12件中2件																								
	3. 評 価	△																								
	<p>平成25年度においては、現年分の徴収率は前年を上回ったが、保険税の徴収率が前年を下回りました。税金全体に対する滞納繰越分の占める割合が依然として25.93%と高く、また今年度は、繰越分の決算時期が早まったことにより繰越分の徴収率が思うように伸びませんでした。現年・繰越合計での徴収率は73.14%で、前年をわずかですが0.47%上回りました。</p> <p>差押え件数及び滞納処分の停止等昨年に比べ減少していますが、差押できる財産の減少や、徴収率が前年並みであることから、分納誓約等の履行により減少したものと推測されます。</p> <p>また、納税相談等により自主納付は微増ですが増加の傾向にあり、更なる推進に努めます。</p>																									
	4. 今 後 の 展 開																									
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規滞納者の早期接触をはかり滞納の解消および滞納者世帯の減少をはかります。 ・滞納世帯の分析、実態の把握を行い、効率的な滞納整理に取り組めます。 (滞納整理重点地区を選び、滞納整理の強化にあたる。) ・分納誓約者及び継続債権差押者の履行監視を強化します。 ・現年分・繰越分合わせた未収額が、前年繰越額を上回らないよう努力します。 																									

全体	No.17
個別	004-03

平成25年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	各主体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気野菜コンテスト」を開催している市民活動団体や生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。 ・緊急雇用創出事業により、生ごみ・廃食油の再利用システム実証実験に取り組みます。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回元気野菜コンテスト開催支援（参加人数：100名） ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：2,000世帯） ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ回収量：150t） 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回元気野菜コンテスト開催 （平成25年12月1日開催 参加者数約50人） ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施 （回収世帯：870世帯、週2回実施） ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ削減量：118t） 	
	3. 評価	△
	<p>昨年度に引き続き、今年度も緊急雇用創出事業により、生ごみ・廃食油分別収集の実証実験として、870世帯、週2回の回収を実施しました。今年度の生ごみ回収量も約118tとなっており、その分ごみ量の削減にも繋げることができました。</p> <p>また、本事業の実施により循環型社会の構築に向けて効果的な取り組みができましたが、回収後の生ごみにより生成した堆肥については、成分分析の結果をもとに品質の確立に向けて、協力者等への提供により堆肥の実証も取り組んでいく必要があります。</p> <p>しかしながら、目標世帯数である2,000世帯には届かなかったため、今年度は、積極的な地区への呼びかけ、市報・CATV・関係団体を通して事業協力への</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>平成26年度も生ごみ・廃食油の分別収集及び堆肥化の実証実験に取り組み、将来的な生ごみの回収及び堆肥の品質確立や供給体制を含めた堆肥化体制の構築を図り、平成28年度からの予定としている市内全域での完全実施に向けて取り組みを進めていきます。</p>	

全体	No.18
個別	004-04

平成25年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	環 境 政 策 課
-----	-----------

No.	項 目	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・ 海岸漂着物等の発生抑制のため関係者間の連携・交流等を目的とし環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ、出前講座など。） <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度～平成23年度に実施した地域GND事業による漂着ごみ回収・処理を参考に漂着ごみの計画的な回収を実施します。 ・ 日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着物回収イベントを実施します。（2回） ・ 海岸漂着物等処理予定数量：トン袋で8,000袋 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度の海岸漂着ごみについては、長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用しながら、トン袋で15,276袋回収いたしました。 ・ 2013日韓市民ビーチクリーンアップ事業の実施 （平成25年5月26日に韓国釜山外大の学生、市民等243人が参加し、約240㎡の漂着ごみを回収しました。） ・ 日韓海岸清掃フェスタIN対馬事業の実施 （平成25年8月24日に対馬市と市民活動団体の共同主催で実施しました。韓国人ボランティア33人、島外日本人ボランティア43人が参加し、約42㎡の漂着ごみを回収しました。また、シンポジウム、ワークショップもおこない、有意義な意見交換の場となりました。） 	
	3. 評 価	○
	<p>平成25年度は長崎県海岸漂着物地域対策推進事業補助金を活用し、大規模な海岸漂着物の回収をおこない、海岸環境や景観に対し一定の成果を得られました。また、韓国釜山外大生との海岸漂着物回収イベント「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」、対馬市と市民活動団体の共同主催でのイベント「日韓海岸清掃フェスタIN対馬」をおこない、海岸漂着物の発生抑制対策が図られました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>漂着ごみ対策は大規模な回収等により、一定の成果はあがっているものの、現状は漂着、回収の繰り返しであり、今後も継続的な漂着ごみの回収に取り組んでいかなければなりません。回収、処理経費の対応のため、今後も国、県による財政支援を要望していきます。</p> <p>それから、漂着ごみ対策の根幹である発生抑制に向けた取り組みも必要であり、「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」など、国際交流事業等を通じて今後も継続的に普及、啓発に取り組んでいきます。</p>	

全体	No.19
個別	004-05

平成25年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	環 境 政 策 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬市一般廃棄物処理基本計画（見直し）の策定
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>対馬市一般廃棄物処理基本計画は、平成31年度を目標年次として、平成18年2月に策定しています。</p> <p>しかしながら、対馬市の廃棄物行政を取り巻く環境は大きく変化し、また、対馬市の重要施策として掲げている「ごみの減量化に向けた生ごみの分別収集・堆肥化」を平成26年度より実施する方向で進めていくなど、対馬市一般廃棄物処理基本計画を見直す必要があるため、計画の見直しに取り組みます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市一般廃棄物処理基本計画策定委員会を5回開催し、計画見直しの素案を策定します。 ・対馬市一般廃棄物処理基本計画の見直し素案については、市民に公表し、意見募集を行います。 ・対馬市一般廃棄物処理基本計画（見直し）の策定
	2. 実 績（成果）	<p>○対馬市一般廃棄物処理基本計画策定委員会 5回開催</p> <p>○パブリックコメントの実施</p> <p>○対馬市一般廃棄物処理基本計画（見直し）の策定</p>
	3. 評 価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>5回の策定委員会を開催し、組織目標どおり、対馬市一般廃棄物処理基本計画（見直し）を策定しました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>見直しを行った対馬市一般廃棄物処理基本計画に沿って、廃棄物の処理に取り組んでいきます。</p>

全体	No.20
個別	004-06

平成25年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	自然環境推進室
-----	---------

No.	項 目	産業基盤の構築と連動しながら自然環境の保全に努めます。
	1. 組織目標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>平成22年9月29日長崎県環境実践モデル都市第1号として選定されたことを受け、再生可能エネルギーの導入促進や民間事業者と連携した新エネルギー導入の可能性について調査、検討を行うとともに、低炭素型社会の構築に向けた省エネルギー化の取り組みも進めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅用太陽光発電設備の導入促進 ○事業用低炭素機器の導入促進 ○公共施設等への再生可能エネルギーの導入促進 	
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ○住宅用太陽光発電設備の導入補助 35件 設置容量205.42kW ○事業所用LED照明設備の導入補助 36件 約2,800灯を交換 高日射反射率塗料塗装 1件 ○公共施設への太陽光発電設備の導入 鶏鳴小学校 10kW 久田小学校 10kW
	3. 評 価	○
		<p>住宅用及び公共施設への太陽光発電設備の導入が進みました。 また、新規に実施した事業所用補助事業においては、LED照明設備への更新が多数実施され、民生業務部門における省エネ化が進みました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>電力需給の逼迫や電気料金の値上げなどを踏まえ、引き続き再生可能エネルギーの導入促進を図るため、住宅用太陽光発電設備、省エネ設備への導入補助実施やその他の再生可能エネルギーの導入可能性の検討など、更なる普及促進と啓発に取り組めます。</p>

全体	No.2 1
個別	004-07

平成25年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	自然環境推進室
-----	---------

No.	項 目	環境基本計画の策定
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>健全で恵み豊かな環境を取り戻し、保護及び整備することで、将来にわたって良好な状態を創り維持するために必要な施策を総合的かつ計画的に推進するため、「対馬市環境基本条例」に基づく、「対馬市環境基本計画」を策定します。</p> <p>また、学識経験者や関係団体等で構成する対馬市環境審議会や市において計画の進行管理を行っていきます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画策定完了（平成24年度から継続） ・環境基本計画の周知 ・計画の進行管理
	2. 実績（成果）	<p>平成25年4月に対馬市環境基本計画を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市環境審議会の開催：2回 ・全世帯への計画書（概要版）の配布 ・小、中、高等学校をはじめ、関係機関への計画書の配布
	3. 評 価	○
		<p>対馬市の環境の方向性を定める重要な計画であるため、多くの市民のご意見等を反映した計画となるよう、環境審議会において慎重な審議を重ね、目標どおりに計画の策定を行いました。</p>
	4. 今後の展開	<p>環境基本計画では、10年後の目標とする対馬市の環境の姿を具体的に示し、市民、事業者、行政、さらには対馬に滞在されている方々がそれぞれの立場で関わりを持って、豊かな環境を次世代に引き継いでいくための施策の推進を目指しており、目指すべき環境の方向性を共有し、市民一丸となって事業を推進していきます。</p>

全体	No.22
個別	005-01

平成25年度 [福祉保健部] 目標の成果

課名	福祉課
----	-----

No.	項目	保育料収納率の向上
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成24年度の現年分収納率が97.3%で、滞納分収納率は54.1%となっています。現年分の未納世帯に対しては納付催促及び徴収を早めを実施し、滞納繰越分については臨戸徴収や納付相談（誓約）を実施し収納率の向上を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現年分収納率 99.0% ・滞納分収納率 60.0% 	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成25年度収納率</p> <p>現年分収納率 95.5%</p> <p>滞納分収納率 44.8%</p>	
	3. 評価	△
	<p>平成25年度実施として、未納・滞納者へ催告通知書等を送付し、納入計画誓約書及び児童手当等を窓口徴収する等対応しました。しかしながら、現年分収納率においては平成24年度97.3%から平成25年度95.5%、滞納分収納率においても平成24年度54.1%から平成25年度44.8%と低下した結果となりました。収納率回復に向けての体制強化を図ります。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>対馬市未収入保育料事務取扱内部規定に沿って、未納保育料及び滞納保育料については納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談（誓約）を実施し、早め早めの徴収を念頭に、各センター保育所担当との連携を図りつつ、確実に業務を遂行することによって収納率の向上を図ります。また、住居不明者等の不納欠損処理を行います。</p>	

全体	No.23
個別	005-02

平成25年度 [福祉保健部] 目標の成果

課名	健康増進課
----	-------

No.	項目	健康つしま21計画の推進
	1. 組織目標	<p>【内容】 生涯を通じて元気に生きるための健康づくりの行動指針や推進方策を示す保健計画「健康つしま21」に基づき、効果的な活動を展開します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 健康つしま21の実施計画を作成します。 ■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続して実施します。 (参加者目標900名) ■ 市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施し、市民の健康づくりに役立てます。参加者総数900名を目標とします。 ■ 市内ウォーキングマップ作成を検討します。 (検討会8回開催予定)
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康つしま21第2次計画を策定しました。 ■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続実施して、市民への健康づくりの啓発を行いました。(ウォーキング参加者 1187名) ■ 市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施しました。参加者総数は1187名と目標の900名を上回りました。 ■ 市内ウォーキングマップ作成の検討を、健康つしま21推進員と協働して行い、現地調査等を実施。また、部内の「健康づくり部会」においても検討を重ねました。(健康つしま21推進員会議5回、現地調査4回、健康づくり部会5回、14回)
	3. 評価	◎
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンの継続実施を通して、市民への健康づくりの啓発を継続実施できました。 ■ 5か所のウォーキング大会で1187名と多くの市民の方に参加をいただくことができました。 ■ 健康つしま21推進員の協力により、ウォーキングマップの作成に向けて、調査と検討を実施することができました。
	4. 今後の展開	<p>今年度組織目標は達成できましたが、引き続き、歩いてつくる元気のおキャンペーンやウォーキング大会は継続していく等、市民の健康づくり啓発に取り組んでいきます。ウォーキングマップは平成26年度に1カ所設置する計画予定であり、効果や影響を検証していきます。</p>

全体	No.24
個別	005-03

平成25年度 [福祉保健部] 目標の成果

課名	健康増進課
----	-------

No.	項目	慢性腎臓病 (CKD) 対策
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 慢性腎臓病 (CKD) の発症や進行は、糖尿病等を起因とする生活習慣病が強く関わっており、その改善や薬物療法等によって進行を抑えることが可能な疾患であるにも関わらず、その重要性が十分に理解されていません。日本では、成人人口の10.6%が慢性腎臓病 (CKD) と予測され、重症化した際の透析患者は医療費高騰の要因の一つです。そこで、対馬保健所等と協力して、今年度から3カ年計画で対策事業を実施します。</p> <p>【指標】 【今年度】 25年度は地域診断(医療費分析)と広報活動を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 専門職対象の地域診断研修会開催 ■ データ分析 ■ 広報活動 ■ 対策協議 </p>	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門職対象の地域診断研修会開催 ■ データ分析 <p>研修会と検討会、対策協議を3回開催、3地域の地域診断を実施しています。 6/27、10/30、1/22</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広報活動 <p>市報6月号(1/4ページ)、2月号(1.5ページ)に記事を掲載 CATV文字放送 3/6～3/19 成人式にリーフレットを配布</p>	
	3. 評価	◎
	<p>3カ年計画の初年度にあたり計画したことは実施できました。今後のCKDの取り組みや他の保健事業にも影響するものと考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>対馬保健所と連携して3カ年計画に基づき実施していきます。また、医療費抑制に向けた慢性腎臓病 (CKD) 対策事業の早期実施に向けて検討していきます。</p>	

全体	No. 2 5
個別	005-04

平成25年度 [福 祉 保 健 部] 目標の成果

課 名	健 康 増 進 課
-----	-----------

No.	項 目	市民健診の受診率向上
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>平成20年度からスタートした特定健診も第1期を終了して6年目を迎えます。対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上と保健指導の充実を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨広報活動を強化して特定健診受診率40%、特定保健指導初回面接実施率65%を実現します。 ・生活習慣病の予防に資する講演会を開催します。 ・健診推進員を雇用し、未受診者への電話や臨戸訪問等による勧奨を図り、受診率の向上を推進します。 <p>【 指 標 】</p> <p>【今年度】 特定健診受診率40%を目標とします。 特定保健指導初回面接実施率65%を目標とします。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率35.4%（推計）と目標値には達しませんでした。 ・受診率向上推進員を5人雇用して、未受診者に対して、個別通知、電話勧奨、戸別訪問を実施した結果、新規受診者の獲得に成功しました。 <p>■24年度未受診で25年度受診した人 1186人（前年 1073人）</p> <p>定保健指導は初回面接実施率68.8%（前年62.5%）に達しており、高い実施率を達成しました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>受診率は目標の40%に対して実績35.4%（推計）と下回る結果となりました。</p> <p>前年度までの未受診者や新規資格取得者の受診が増加したことは、健診推進員の活動が成果につながりました。</p> <p>また、特定保健指導では初回面接実施率68.8%を達成し、目標を上回りました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<ul style="list-style-type: none"> ①健康つしま21事業等の健康づくり事業との連携 ②対馬市健診推進員の雇用（未受診者への電話と臨戸訪問） ③受診勧奨ハガキの郵送 ④事業所健診の国保被保険者データの取込み（継続） ⑤特定保健指導実施率の維持 	

全体	No.26
個別	006-01

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬しいたけ再生プラン総合対策支援事業
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しいたけの生産拡大を目指します。 ○効率的なしいたけ生産に向けて支援します。 ○対馬しいたけの需要拡大を図ります。 ○原木しいたけ生産者の指導の下、後継者の育成を図ります。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しいたけ生産新規参入者：7名 しいたけ選別作業員：6名 ○しいたけ原木搬出路：26km（再生プランに基づき、長崎県が担う） ○しいたけ乾燥機リース導入：13台 ○簡易散水施設：30基
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ○しいたけ生産新規参入者：7名 しいたけ選別作業員：14名 ○しいたけ原木搬出路：0km（長崎県の生産者への事業制度の周知不足） ○しいたけ乾燥機リース導入：3台 ○簡易散水施設：36基
	3. 評 価	△
		<p>しいたけ生産量、生産額ともに前年を下回りました。原発事故によるセシウム風評被害により、西日本産のしいたけ価格まで影響し、販売価格が生産価格を大きく下回るなど、消費者のしいたけ離れが進んだことが大きな要因となりました。国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し、若者・女性の担い手は増えつつも、単価暴落に対する対応策をとることができませんでした。しかし、全国乾椎茸品評会では林野庁長官賞を3名が受賞し、団体の部では全国準優勝に輝きました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>第3次しいたけ振興計画「対馬椎茸”やる倍”ナバダス計画」では、生産体制の充実を図ることはもとより、流通体制まで大きく踏み込んだ計画を策定しました。安全安心なしいたけの新規販路開拓・消費拡大に向けて、関係機関一丸となって取り組みます。</p>

全体	No. 27
個別	006-02

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬市森林づくり基本計画、対馬市伐採ガイドラインの策定
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	対馬市森林づくり基本計画を策定します。 対馬市伐採ガイドラインを策定します。 上記2つの計画、指針の進捗管理を対馬市森林づくり委員会にて行います。
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくり基本計画：平成25年度上半期 ・対馬市伐採ガイドライン：平成25年度上半期 ・林業事業者との意見交換会：1回 ・計画策定及び進捗管理のための委員会の開催：4回
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくり基本計画：平成25年度9月策定 ・対馬市伐採ガイドライン：平成25年度9月策定 ・林業事業者との意見交換会：上地区・下地区で各1回 ・計画策定及び進捗管理のための委員会の開催：3回 ・年度最後の委員会において、平成26年度の事業を選定
	3. 評 価	○
		森林づくり基本計画・対馬市伐採ガイドラインともに原案は、上半期に出来上がっていましたが、市民へのパブリックコメントを募集したり、林業関係者との意見交換会を行ったりで最終的な修正等をした結果、策定が9月となりました。しかしながら、1年半ほどの期間を要して作成したもので、良いものが出来上がりました。
	4. 今 後 の 展 開	
		自らが基本計画・ガイドラインに則って森林整備や環境保全に努めるとともに業者や個人が行う施業についても森林計画や伐採届け等の提出により、わかり得る限りの指導を行っていきます。また、現地調査も厳密に行っていきます。なお、森林づくり委員会を年3回程度開催して事業の進捗状況の評価や次年度に向けての助言をいただきながら計画を立案していきます。

全体	No.28
個別	006-03

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>国・県等の補助制度等の活用による間伐事業を現状の森林状況に沿った計画的な間伐を進めます。</p> <p>なお、J-VER制度については、平成24年度までにクレジット発行まで出来たことからクレジットの売買を加速させます。</p>
	【 指 標 】	<p>【市有林整備】</p> <p>①森林整備面積：18ha（利用間伐）②路網整備：L=4,000m</p> <p>【J-VER制度関係】</p> <p>①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（3回）</p> <p>②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円）③新規契約件数：3件</p>
	2. 実 績（成果）	<p>施業実施面積：利用間伐 面積（16.31ha） 材積（44m³）</p> <p>路網整備：3,175m</p> <p>【J-VER関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●追加認証：平成24年度間伐分(14.81ha)をクレジット化 ●クレジット発行量：平成25年度352t-CO2 総量1,522t-CO2 ●クレジット売買の為の企業訪問及びイベント参加：7回 ●クレジット販売額：59t-CO2（収入金：600,600円） ●売買契約数：6件（うち新規顧客1件） ●クレジット残量：1,450t-CO2（うち100t-CO2は、5年契約済み）
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ●間伐面積は、1.69ha減で素材生産量が減りましたが、素材の質がよく売り払い価格は、昨年度より3万円高く732万円の収入があり、森・川・里・海環境保全再生基金に充当することが出来ました。 ●追加認証で352t-CO2をクレジット化することが出来たことで、より広範囲な販売促進を行うことが出来るようになりました。 ●クレジット販売について、新規顧客は1件にとどまりましたが、年間25t-CO2の5年契約を結ぶことが出来ました。
	4. 今 後 の 展 開	<p>森林の有する諸機能を高度に発揮させるために、適正な森林施業を実施し、健全な森林資源の維持増進を図ります。また、J-VER関係においてはクレジット販売を強化するため、引き続き全国イベントへの参加や埼玉県制度への本格参画のため、埼玉県内の目標未達成事業所への売り込みを開始します。</p>

全体	No.29
個別	006-04

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	農林産物の鳥獣被害防止及び居住区域内における生活安全対策確立
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	対馬市鳥獣防止計画に基づき被害対策を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地用防護柵の整備 ・ 既存農地用防護柵の機能強化 ・ 地域ぐるみでの捕獲組織構築 ・ 居住区域内における生活安全対策の確立 ・ 家庭菜園等の防護対策支援
	【 指 標 】	防護柵の設置 L=83,632m
		平成25年度被害金額及び面積（目標） イノシシ：23,936千円、31.8ha
	2. 実 績（成果）	
		防護柵の設置（ワイヤーメッシュ柵購入） L=100,272m（内しいたけほだ場用ワイヤーメッシュ柵16,640m） 既存農地用防護柵の機能向上資材設置（18地区設置） 居住区域内安全対策事業（集落周囲全体を防護柵で取り囲む） 6地区 家庭菜園用防護柵 22件 平成25年度被害額及び面積 イノシシ：12,621千円、8.36ha（対前年度比37%）
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度の被害（イノシシ：34,194千円、45.39ha）の影響を受けて、各種防護柵整備事業を実施し、その成果として被害面積、被害額が減少しています。 また、対馬猪鹿活用促進事業において、既存防護柵の位置を地図上に可視化し、地域主体の被害対策に向けた基礎資料作成に取り組む事ができました。
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>対馬猪鹿活用促進事業で、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状把握をさらに進め、要請があった地区には直接出向き、地域住民に情報をフィードバックします。ただし対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹します。（行政依存体質の脱却）</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、事業メニューが多数あり、市民の理解度が低い事から、期間を定めて「イノシシ・シカに関する対策相談」等を個別に開催し、農業振興と被害対策についての正確な情報提供に努めます。※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。</p> <p>また、農林業従事者、有害鳥獣捕獲従事者、行政担当等でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題を横断的、多面的に話し合い問題解決に向けた意見の集約を実施します。さらには有害鳥獣対策に多くの市民が関わるためのきっかけに皮革製品や食肉加工品等、利活用の普及啓発活動を行います。</p>

全体	No.30
個別	006-05

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業																					
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 各学校給食調理場が納入した、地場産品（対馬産）について、月毎に1/2（対馬生まれのあか牛の場合は3/4）の助成を実施します。</p> <p>【 指 標 】 農林水産物の需給システムを構築します。</p> <p>【 達 成 年 度 】 平成26年度 学校給食に地場産品を使用する割合</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ミニトマト</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">アスパラガス</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">さつまいも</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">しいたけ</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">米</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table>	主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	30%	ミニトマト	80%	アスパラガス	80%	さつまいも	80%	しいたけ	100%	米	50%									
主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	30%																						
ミニトマト	80%																						
アスパラガス	80%																						
さつまいも	80%																						
しいたけ	100%																						
米	50%																						
	2. 実 績 (成 果)	<p>特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行いました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;"></th> <th style="width: 10%; text-align: center;">H25</th> <th style="width: 10%; text-align: center;">H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比</td> <td style="text-align: center;">28%</td> <td style="text-align: center;">25%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ミニトマト</td> <td style="text-align: center;">83%</td> <td style="text-align: center;">71%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">アスパラガス</td> <td style="text-align: center;">52%</td> <td style="text-align: center;">59%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">さつまいも</td> <td style="text-align: center;">48%</td> <td style="text-align: center;">69%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">しいたけ</td> <td style="text-align: center;">99%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">米</td> <td style="text-align: center;">42%</td> <td style="text-align: center;">45%</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H24	主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	28%	25%	ミニトマト	83%	71%	アスパラガス	52%	59%	さつまいも	48%	69%	しいたけ	99%	100%	米	42%	45%
	H25	H24																					
主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	28%	25%																					
ミニトマト	83%	71%																					
アスパラガス	52%	59%																					
さつまいも	48%	69%																					
しいたけ	99%	100%																					
米	42%	45%																					
	3. 評 価	△																					
		<p>対前年比において、アスパラガス、さつまいもなど使用割合が低下したものもありますが、主要4品目の実績があがりました。</p>																					
	4. 今 後 の 展 開	<p>受給システムの構築及び地産地消の推進を図り、目標達成に向け、取り組みます。</p>																					

全体	No.3 1
個別	006-06

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「海洋保護区の設定」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対馬沿岸の海洋生態系の保全を重点課題とし、水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るための対象となる空間である「海洋保護区」の設定を目指します。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学委員会はチーム毎に検討課題を分担し、データや分析等の整理をします。各チームからのまとめから報告書を作成します。 ○ 設定推進協議会は、報告書の確認と、答申を受けて今後の方針を整理します。 ○ 設定推進協議会1回、専門委員会3回、科学委員会3回、戦略会議1回開催予定
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設定推進協議会1回開催。（専門委員会・科学委員会との合同開催） ○ 専門委員会2回開催。（うち1回は専門員会・科学委員会との合同開催） ○ 科学委員会3回開催。（うち1回は設定推進協議会・専門委員会との合同開催） ○ 科学委員会からの報告書提出による設定推進協議会への答申。
	3. 評 価	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学委員会は、各チームのテーマごとにまとめた報告書の提出による答申はありましたが、報告書の印刷製本には至りませんでした。
	4. 今 後 の 展 開	<p>設定推進協議会が答申内容の確認をして、今後の方針を整理していき、対馬市海洋保護区の立案に向けて進めていきます。</p>

全体	No.32
個別	006-07

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「対馬食通祭の開催」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高めるために対馬市産物消費拡大推進事業を（対馬食通祭）展開します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○3ヶ月間のイベントを実施。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中の4つのイベントを開催します。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>1 島内でのイベント</p> <p>① オープニングイベント 11月9日(土) 会場：厳原 参加のべ人数800人</p> <p>② 中間イベント 12月14日(土) 会場：厳原 参加のべ人数300人</p> <p>③ 中間イベント 12月15日(日) 会場：上対馬 参加のべ人数250人</p> <p>④ エンディングイベント 1月26日(日) 会場：美津島 参加のべ人数600人</p> <p>⑤ 期間中のイベント 11月9日(土)から1月26日(日) 参加のべ人数9,125人 期間中、島内45店舗で対馬の食材を使用した料理を食べた方(1,000円以上)にビンゴカードを配布。配布枚数9,125枚(ビンゴ大会を②～④のイベント時に併せて開催)</p> <p>2 島外でのイベント</p> <p>① よりあい処つしまでのイベント 11月22日 会場：福岡市 参加のべ人数100人</p> <p>② NTT西日本対馬食材フェア 11月27日 会場：福岡市 参加のべ人数150人</p>
	3. 評 価	○
		<p>延べ1万1千人の方に対馬の農水産物の魅力を広めることができ、消費拡大の促進と対馬産地名度の向上へと起因する事業を行うことができました。また、初年度事業の目的である提供する側と食べる側の双方ともに、改めて対馬産に対する認識を深めることができ、「メイドイン対馬」の情報発信を効果的に行えました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>対馬食通祭のイベントを通じ、生産者と提供する店舗が島内全の一つの行事として対馬の産物を一体となって売り込み、その姿、姿勢を島外にPRすることで、島の魅力を発信します。</p> <p>また、島内店舗の協力体制の拡大及び旬な食材が島内店舗のどこでも食べることが出来る島内流通の確立など、地産地消を行う上で必要不可欠となる体制を整えるため、引き続き対馬食通祭を実施し、対馬産の浸透を図っていきます。</p>

全体	No.33
個別	006-08

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「魚礁設置」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。近場の漁場を整備することにより漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えることができます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○魚礁13,500空³m³(上対馬2箇所・佐須奈2箇所：6,000空³m³、琴・芦見・田ノ浜・小網1・2：7,500空³m³)</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>○上対馬1工区(豊地先)1,421空³m³</p> <p>○上対馬2工区(網代地先)1,532空³m³</p> <p>○佐須奈1工区(佐護地先655空³m³【製作のみ】)</p> <p>○佐須奈2工区(佐護地先)1,580空³m³</p>
	3. 評 価	△
		<p>・平成24年度繰越事業分は実施しましたが、平成25年度事業については、測量試験を実施し、平成26年度実施へと繋げていきます。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>平成26年度は、平成25年度繰越事業分と平成26年度事業分を完了できるように取り組みます。</p>

全体	No.34
個別	006-09

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「水産物の輸送費補助」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・水産物を島外へ出荷する祭の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○142万箱分に対して支援を行います。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>○181万5千箱分に対しての支援を実施しました。</p>
	3. 評 価	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>・目標142万箱分に対して181万5千箱分、約28%分の増加となり、漁業者の負担軽減に努めました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>平成26年度は、平成25年度分以上の実績を見込んでいます。</p>

全体	No.35
個別	006-10

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期発注、早期完成を図るため、12月末まで設計を完了します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成25年末完了予定額 100%目標 (1,303百万円)</p> <p>平成25年末完了予定件数 委託 17件 工事 19件</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>平成25年末完了額 実績額 1,604百万円中、490百万円 30.6%</p> <p>平成25年末完了件数 実績件数 工事 27件中、9件 委託 19件中、12件</p> <p>漁港事業においては、新規工種に伴う計画変更及び埋立申請等の許認可に日数を要し、進捗が大幅に遅れた。又、台風による災害が3件発生したことや国の補正予算等により委託及び工事発注件数が増となり、4漁港において発注が遅れました。また、農地農用施設災害、林道災害が発生し8月から12月にかけて査定対応を行いました。年度末後半には、国の補正予算獲得に向けての取組を行いました。</p> <p>平成25年度 国の補正による額 260百万円</p>	
	3. 評 価	△
	<p>早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行ったが、新規着手工種の許認可事務及び10月の台風24号による災害査定、合併施行協議等の事務処理に時間を要し4漁港において、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。また、補正予算分につきましても、早期着手を目指します。</p>	

全体	No.36
個別	007-01

平成25年度 [建設部] 目標の成果

課名	管理課
----	-----

No.	項目	市営住宅使用料の収納計画の策定と未収金縮小																
	1. 組織目標																	
	【内容】	収納計画を策定し、未収額の縮小に努めます。																
	【指標】	市営住宅使用料の徴収率 現年分 99.01% 滞納分 52.17% 計 91.84%																
	2. 実績(成果)																	
	市営住宅使用料の徴収率	現年分 95.07% 滞納分 25.71% 計 85.26%																
	市営住宅使用料	(単位：千円)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年分</th> <th>滞納分</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調定額(現年・過年)</td> <td>135,354</td> <td>22,590</td> <td>157,944</td> </tr> <tr> <td>収入実績</td> <td>130,080</td> <td>5,703</td> <td>135,783</td> </tr> <tr> <td>徴収率</td> <td>96.10%</td> <td>25.25%</td> <td>85.97%</td> </tr> </tbody> </table>		現年分	滞納分	合計	調定額(現年・過年)	135,354	22,590	157,944	収入実績	130,080	5,703	135,783	徴収率	96.10%	25.25%	85.97%
	現年分	滞納分	合計															
調定額(現年・過年)	135,354	22,590	157,944															
収入実績	130,080	5,703	135,783															
徴収率	96.10%	25.25%	85.97%															
	3. 評価	△																
		<ul style="list-style-type: none"> ・滞納者に対し、文書による督促事務を行い、納付依頼を実施しました。 ・督促文書送付で未支払者に対し、訪問・文面による納付確約又は連帯保証人へ納付指導を行いました。 <p>以上の事務の徹底により目標数値を目指しましたが、長引く不景気による就職難等により納付約束の不履行が顕著となり、目標徴収率を下回りました。しかし、対面徴収の徹底により、高額未納者の退去に加え納付計画を確約させるなど今後の徴収率の向上に期する条件を整備出来た事は、一定の前進です。</p>																
	4. 今後の展開																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、年間を通しての対面による納付依頼の強化し納付対策に取り組めます。 																

全体	No.37
個別	007-02

平成25年度 [建設部] 目標の成果

課名	建設課
----	-----

No.	項目	公共工事の早期発注、早期完成								
	1. 組織目標									
	<p>【内容】</p> <p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図ります。</p> <p>【指標】</p> <p>平成25年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 19件 350百万円 《100%目標》</p> <p>平成25年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 14件 1,238百万円 《100%目標》</p>									
	2. 実績（成果）									
	<p>（測量・調査・設計）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">平成25年度12月末設計書作成件数</td> <td style="text-align: right;">18件</td> </tr> <tr> <td>平成25年度12月末発注額</td> <td style="text-align: right;">280百万円</td> </tr> </table> <p>（工事）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">平成25年度12月末設計書作成件数</td> <td style="text-align: right;">10件</td> </tr> <tr> <td>平成25年度12月末発注額</td> <td style="text-align: right;">1,098百万円</td> </tr> </table>	平成25年度12月末設計書作成件数	18件	平成25年度12月末発注額	280百万円	平成25年度12月末設計書作成件数	10件	平成25年度12月末発注額	1,098百万円	
平成25年度12月末設計書作成件数	18件									
平成25年度12月末発注額	280百万円									
平成25年度12月末設計書作成件数	10件									
平成25年度12月末発注額	1,098百万円									
	3. 評価	○								
	<p>最終予算額は当初予算額と比して約200百万円の減額となりましたが委託及び工事の発注件数については概ね達成できました。しかしながら契約議決案件での議会開会時期との調整や3月の国の大型補正に伴う予算拡大により繰越事業費が膨らみました。</p>									
	4. 今後の展開									
	<p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期着工、早期完成に努めます。</p>									

全体	No.38
個別	008-01

平成25年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課 名	水 道 課
-----	-------

No.	項 目	水道料金収納率の向上
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	水道料金の収納率の向上に努めます。
	【 指 標 】	
	収納率	
	・ 対馬市水道事業	96.2% (前年度目標 96.1%)
	・ 対馬市簡易水道事業	98.3% (前年度目標 98.9%)
	2. 実 績 (成 果)	
	収納率	
		前年度
	・ 対馬市水道事業	現年分 95.87% (96.11%)
		過年分 44.54% (46.53%)
		計 92.62% (92.76%)
	・ 対馬市簡易水道事業	現年分 97.99% (97.32%)
		過年分 19.46% (64.09%)
		計 93.86% (95.74%)
	3. 評 価	△
		<p>滞納者に対し、督促及び催告書を発送し、また給水停止の措置を講じましたが、水道事業については率について0.24%、簡易水道事業は前年度より徴収率はアップしたものの、数値にして0.31%金額にして約1,371千円の数値目標に達することが出来ませんでした。</p> <p>催告、給水停止等を実施すると、分納や完納がありましたが、その後また滞納するといった状況で、目標数値には届きませんでした。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>過去の寒波災害の教訓を生かし、安定した水の供給を図りつつ、水道料金の収納率の向上に向け、滞納者に対し、給水停止の措置を強化し（3ヶ月以上の悪質滞納者を対象）、滞納＝給水停止という意識づけのもと、努めていきます。</p>

全体	No.39
個別	009-01

平成25年度 [美津島地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	窓口サービスの向上に努めます。
	1. 組織目標	
	【内容】	
		職員相互の情報の共有化を図り、各担当の業務内容の把握に努め、担当不在時の対応や複数来時の対応など、窓口サービスの向上に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に会議開催を行うほか課内回覧などにより情報の共有化を推進します。 ・挨拶の励行と丁寧な対応を心掛け親しみのある窓口づくりを推進します。 ・窓口や電話での苦情、トラブルには、誠意をもって対応するとともに、その事例を参考に再発防止に努めます。
	2. 実績(成果)	
		◎苦情件数「0」に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と丁寧な対応による接客マナーの徹底。 →→→丁寧な対応に努めました。 ・毎週1回の課内会議の開催 →→→各課で週1回実施しました。 ・回覧・周知による積極的な情報共有の促進 →→→必要な周知事項はセンター内で全員に回覧周知しました。 ・各担当の業務・行事予定の把握 →→→毎週明け、業務・行事予定の確認を行い課員の周知に努めました。 ・マナー研修等への積極的な参加 →→→職員研修等へ積極的に参加しました。
	3. 評価	○
		◎ほとんどが、履行できて良好でした。 しかし、苦情件数「0」については、達成とまではいかず、一部窓口の対応が悪いなどの苦情が、本庁あてにありました。
	4. 今後の展開	
		引き続き、次年度も窓口サービスの向上と苦情件数「0」に向けての取組を推進していきます。

全体	No.40
個別	009-02

平成25年度 [美津島地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	市営住宅使用料の収納計画の策定と未収金縮小																						
	1. 組織目標	<p>【内容】 市営住宅25年度使用料の収納率向上に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めます。また、過年度分の滞納額徴収も積極的に取り組み、滞納額全体の縮減に努めます。</p> <p>【指標】 市営住宅使用料の過年度までの滞納額（率）を10%以上縮減に努めます。 24年度実績 過年度収納率 36.17% (1,406,400円) 25年度実績 過年度収納率 45.77% (2,187,300円)</p>																						
	2. 実績(成果)	<p>市営住宅使用料の徴収率</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>現年分</td><td>91.07%</td></tr> <tr><td>滞納分</td><td>45.77%</td></tr> <tr><td>計</td><td>84.03%</td></tr> </table> <p>市営住宅使用料</p> <table style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年分</th> <th>滞納分</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調定額(現年・過年)</td> <td>25,991,200</td> <td>4,779,400</td> <td>30,770,600</td> </tr> <tr> <td>収入実績</td> <td>23,669,600</td> <td>2,187,300</td> <td>25,856,900</td> </tr> <tr> <td>徴収率</td> <td>91.07%</td> <td>45.77%</td> <td>84.03%</td> </tr> </tbody> </table>	現年分	91.07%	滞納分	45.77%	計	84.03%		現年分	滞納分	合計	調定額(現年・過年)	25,991,200	4,779,400	30,770,600	収入実績	23,669,600	2,187,300	25,856,900	徴収率	91.07%	45.77%	84.03%
現年分	91.07%																							
滞納分	45.77%																							
計	84.03%																							
	現年分	滞納分	合計																					
調定額(現年・過年)	25,991,200	4,779,400	30,770,600																					
収入実績	23,669,600	2,187,300	25,856,900																					
徴収率	91.07%	45.77%	84.03%																					
	3. 評価	<p style="text-align: center;">△</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者に対し、文書による督促事務を行い、納付依頼を実施しました。 ・督促文書送付で未支払者に対し、訪問・文面による納付確約又は連携保証人へ納付指導を行いました。 ・過年度分滞納額の徴収率が、24年度実績より9.6%ポイント向上しました。 <p>以上の事務の徹底により目標数値を目指しましたが、長引く不景気による就職難等により納付約束の不履行が顕著となり、目標徴収率を下回りました。</p>																						
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、年間を通しての対面による納付依頼を強化し、納付対策に取り組みます。 																						

全体	No.4 1
個別	009-03

平成25年度 [美津島地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	安全・安心のまちづくりを推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 濃部地区の保安林指定の同意書取得に向け、対馬振興局農林整備課を密に連携を取りながら地元調整等を行っていきます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係地権者への保安林指定同意に向けての協議 ・平成27年度までに同意書の取得 	
	2. 実績(成果)	
	<p>関係地権者との協議は、平成25年度中は特に協議を必要としなかったため、進展していませんが、引き続き平成27年度中の同意書に向けて努力してまいります。</p>	
	3. 評価	×
	<p>事業着手に向けての取組み（事務手続き）については、地元住民の同意を得ていますが、平成27年度の保安林指定の同意取得完了を目標としているため、平成25年度は特に個別協議までにはいたりませんでした。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>担当部署が変更になりますが、平成28年度の事業実施に向けて本庁、中対馬振興部及び対馬振興局農林整備課と連携を取りながら、平成27年度中の同意書取得に向けて協力してまいります。</p>	

全体	No.4 2
個別	009-04

平成25年度 [美津島地域活性化センター] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	水道料金の収納率向上
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>水道料金の収納率向上に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めます。 また、過年度分の滞納額徴収を積極的に行い、滞納額全体の縮減に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>現年度分滞納額の縮減 (500万円以下*25年3月末777万円) 過年度分の滞納額徴収 (700万円以下*25年3月末867万円)</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>現年度分滞納額 * 25年度末558万円 過年度分滞納額 * 25年度末862万円</p> <p>現年度分については目標額に近づけることができましたが、過年度分については昨年と変わらない結果になりました。</p>
	3. 評 価	△
		<p>平成25年5月に催告書、11月に給水停止予告書を送付し、数件に給水停止を実施しました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>催告書、給水停止予告書の送付後、給水停止の取組強化を実施します。</p>

全体	No.43
個別	010-01

平成25年度 [豊玉地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	イベントと連携した体験型観光の推進
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊玉町管内で開催されるイベント（シーカヤック大会）と連携した体験型観光を推進し、浅茅湾をはじめ和多都美神社などの観光資源の活用を促進します。 <p>【指標】</p> <p>シーカヤック大会参加者数 100名</p>
	2. 実績(成果)	<p>平成25年度は8月18日にシーカヤック大会が開催され、地域支援課としてもスタッフとして企画から準備、当日と地元商工会青年部をはじめ商工会員や地元で結成される実行委員会とともに参加しました。</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>参加者数の目標は100名としており、実績は95名と若干届きませんでした。前年度の85名を上回ることができました。</p>
	4. 今後の展開	<p>地域としても、シーカヤックを通して親睦を深めるとともに、和多都美神社をはじめとした浅茅湾という観光資源をPRする大事なイベントと位置づけていることから、引き続き地域と連携していきたいと思えます。</p>

全体	No.4 4
個別	010-02

平成25年度 [豊玉地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	観光地の景観維持活動
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神話の里自然公園や烏帽子岳展望所等の景観維持活動を行います。 <p>【指標】</p> <p>職員による園内の朽木伐採と景観維持活動を実施します。（年2回実施）</p>
	2. 実績(成果)	<p>平成25年度においては、神話の里内の日本庭園に植栽されている樹木の剪定を中心に、園内の樹木管理を重点的に行いました。</p> <p>また、烏帽子展望所においても、朽木等の除去作業などを行いました。</p>
	3. 評価	○
	4. 今後の展開	<p>神話の里及び烏帽子展望所は、観光客も多く継続的な維持管理が必要と思われます。</p>

全体	No.4 5
個別	010-03

平成25年度 [豊玉地域活性化センター] 目標の成果

課名	住民生活課
----	-------

No.	項目	窓口の適正な運営、環境整備
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>①窓口処理における市民満足度の向上を図ります。 ②不法投棄防止の啓発に努めます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい職場（窓口）環境づくり、苦情件数「ゼロ」 ・不法投棄箇所数の減
	2. 実績（成果）	<p>①市民の満足度の向上を図るため、苦情件数「ゼロ」を掲げ「あいさつ、声かけ、説明」に努めた結果、苦情等はなく、適切に対応できました。</p> <p>②多量の家庭ゴミが投棄されている場所を1カ所確認し、現場の調査により証拠品を発見し面談を行いました。確証を得る事はできませんでした。その後、土地所有者立会のもと、保健所と合同で清掃を行い、啓発の看板を設置しました。</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>①職員の連携と適切な対応で、苦情件数「ゼロ」を達成することができました。今後も継続して達成できるように努めます。</p> <p>②再発防止のため看板を設置しましたが、再びゴミの投棄を確認しました。</p>
	4. 今後の展開	<p>①わかりやすく親切で丁寧な説明、また、すべての事務処理において、常に「確認」を心がけ、今後も苦情件数「ゼロ」を目標にします。</p> <p>②住民の意識改革を図るため、看板設置等の啓発活動を活発に行い、不法投棄の防止に努めます。</p>

全体	No.46
個別	010-04

平成25年度 [豊玉地域活性化センター] 目標の成果

課名	住民生活課
----	-------

No.	項目	税・水道料金の納付促進
	1. 組織目標	
		<p>【内容】</p> <p>①税の徴収率向上 ②水道料金徴収率の向上</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税の現年度分徴収率を95%以上に、滞納分徴収率を11.5%以上にします。 ・水道料金の現年分徴収率を99%以上に、未収金額100万円を50万円に減額します。
	2. 実績(成果)	
		<p>①徴収率の向上に向け、電話や文書による催促、各戸を訪問し徴収率の向上に努めた結果、現年度分は目標を達成しました。しかしながら、過年度分は目標を達成できませんでした。(現年度分実績：95.48% 滞納分実績：11.31%)</p> <p>②徴収率の向上にむけ、未納者の家を訪問し、徴収に努め徴収率は24年度より若干アップしたが、目標に達することができなかった。未収金額も100万円を下回ることができなかった。(徴収率24年度98.32%、25年度98.41%)</p>
	3. 評価	△
		掲げた目標の4項目中1項目しか目標を達成できなかったが、全体的に徴収率は前年に比べて向上しています。
	4. 今後の展開	
		今後も徴収率向上に努力し、未収金の減額に努力します。

全体	No.47
個別	011-01

平成25年度 [峰地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	管内施設の環境整備の徹底
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 管内の公共施設である公園や庁舎について、施設の維持管理を徹底し、効果的かつ安心安全な市民の利用しやすい環境の整備に努めます。</p> <p>【指標】 公園（山村広場、佐賀農村公園）の年2回の草刈り及び庁舎等の緑地の草刈り、清掃等を随時行い環境整備に努めます。</p>	
	2. 実績（成果）	
		<p>・平成25年8月2日及び平成25年11月20日の2日間、山村広場、佐賀農村公園及び旧志多賀保育所敷地内の草刈り及び清掃を実施し、市民が利用しやすい環境の整備が出来ました。なお、庁舎及び周辺におきましても通年を通して、随時、環境整備に努めました。</p>
	3. 評価	○
		<p>・効果的、安心安全な市民の利用しやすい環境整備が出来ました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>・施設の維持管理を徹底し、市民の利用しやすい環境の整備に努めます。</p>

全体	No. 4 8
個別	012-01

平成 2 5 年度 [上 県 地 域 活 性 化 セ ン タ ー] 目 標 の 成 果

課 名	各 課 共 通
-----	---------

No.	項 目	地 域 イ ベ ン ト ・ ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 へ の 参 加
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】 地 域 イ ベ ン ト や ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 積 極 的 に 参 加 し ま す 。</p> <p>【 指 標 】 職 員 の 参 加 率 「 5 0 % 」 を 目 標 と し ま す 。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>地 元 開 催 の あ じ さ い 祭 ・ パ ラ グ ラ イ デ ィ ン グ 対 馬 大 会 、 対 馬 初 午 祭 、 上 対 馬 で 開 催 の 国 境 マ ラ ソ ン イン 対 馬 な ど に 上 県 地 域 活 性 化 セ ン タ ー の 多 数 の 職 員 が 参 加 し ま し た 。 ひ と つ ば た ご 祭 り に も 職 員 が 参 加 し て い ま す 。</p> <p>ま た 、 管 内 の 公 園 の 草 刈 り 等 に も 、 休 日 、 職 員 が 自 発 的 に 参 加 す る 姿 が あ り ま し た 。</p>
	3. 評 価	○
		<p>上 県 地 域 活 性 化 セ ン タ ー の 多 数 の 職 員 が 、 地 域 で 開 催 さ れ た イ ベ ン ト や ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 積 極 的 に 参 加 し 、 地 域 住 民 と の 関 わ り の 重 要 性 を 認 識 で き ま し た 。</p> <p>ま た 、 管 内 イ ベ ン ト に と ど ま ら ず 、 管 外 に お け る イ ベ ン ト に も 多 数 の 職 員 が 参 加 し 、 イ ベ ン ト を 支 え ま し た 。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>今 後 も 引 き 続 き 、 地 域 イ ベ ン ト ・ 清 掃 活 動 ・ 福 祉 活 動 に 積 極 的 に 参 加 し 、 地 域 と の 関 わ り を 深 め 、 「 協 働 」 を 根 付 か せ る 必 要 性 を 痛 感 し ま す 。</p> <p>平 成 2 6 年 度 の 機 構 改 革 に よ り 、 上 対 馬 振 興 部 と 協 力 し 地 域 の ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 参 加 し ま す 。</p>

全体	No.49
個別	012-02

平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	窓口及び電話対応の向上
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 窓口サービス及び電話対応の向上に努めます。</p> <p>【指標】 窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」</p>	
	2. 実績(成果)	
		上県地域活性化センター全職員が、来庁者に対して親しみやすい挨拶と、お客様を待たせない対応を常に心がけました。
	3. 評価	○
		<p>窓口対応については、来庁者に対し親しみやすい挨拶とお客様を待たせない対応ができ、住民サービスにおける職員の資質向上、住民に親しみやすい組織づくりができたと考えます。</p> <p>このように常日頃から、親切丁寧な対応を心がけていますが、なお一層、職員の意識徹底を図っていきます。</p>
	4. 今後の展開	
		窓口及び電話対応は、地方自治体にとって地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き組織目標として、親しみやすく苦情のない組織づくりを目指していきます。

全体	No.50
個別	012-03

平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	各課共通
----	------

No.	項目	庁舎内外の清掃の徹底
	1. 組織目標	
		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内の週1回の清掃の徹底 ・週1回の庁舎内清掃に加えて、毎月始めの木曜日にセンター敷地並びに周辺の清掃、除草の徹底。 ・ゴミや汚れを見つけたときの「即清掃」の徹底。 ・庁舎内から出るゴミの減量化と分別の徹底。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内の週1回の清掃。 ・月1回の敷地並びに周辺の清掃・除草。 ・今年度より事業系ゴミとして処理される庁舎内ゴミに関し、予定排出量を少しでも下回るよう、ゴミの「減量化」に取り組みます。 ・分別を徹底し、資源ゴミとします。 ・センター周辺で除草した植物の緑肥化を図ります。
	2. 実績(成果)	
		<p>庁舎内の週1回の清掃及び月1回の敷地内の清掃については、目標通り取り組みました。ゴミの減量化についても、ミスプリント紙の裏紙としての利用や、封筒の再利用等で減量化を図ることができたと考えています。</p> <p>資源ゴミの分別についても、カン・ビン・段ボールなど、分別はできましたし、庁舎周辺の除草・緑肥化についても、職員で協力し目標を達成できました。</p>
	3. 評価	○
		<p>庁舎内外の環境の善し悪しは、来庁される市民の皆様はもちろんのこと、周辺住民の皆様の市役所に対する印象に大きく影響を与えることから、今後もなお一層、職員の意識徹底を図っていきます。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>今後も現在の取り組みを強化し、よりよい庁舎内外環境となるよう、職員一丸となって目標を達成できるよう協力して取り組みます。</p>

全体	No. 5 1
個別	012-04

平成25年度 [上県地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	観光基盤の充実と体験型観光の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>ツヤマヤネと対州馬など対馬固有の地域資源を活用し交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対州馬保存管理基本計画の策定 ・対州馬とのふれあい事業の実施 ・ツシマヤマネコ生息地環境整備事業への取り組み ・目保呂ダム馬事公園観光地整備事業への取り組み <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対州馬保存管理計画検討委員会により、関係機関と連携を図り計画を策定。 ・目保呂ダム馬事公園の交流人口の拡大目標 <p>平成25年度目標：6,000人、平成25年度実績：4,513人（平成24年度：4,500人）</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>馬事公園での年間来場者数は目標を上回ることができなかったものの、啓蒙啓発活動においては、平成24年度を上回る活動を展開しました。テレビ取材や福岡での島外イベントにも参加し、対州馬とのふれあい事業によりPR活動を実施しましたが、対州馬保存管理基本計画については、今年度の策定には至りませんでした。</p> <p>北部対馬観光地景観整備事業については、緊急雇用対策により、目保呂ダム馬事公園の景観形成、千俵蒔山の草地再生、あじさいロードのあじさいの植栽及び黒松の除草を行いました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>25年度は、対州馬の活用について、マスコミの認知度もより一層上がり、新聞テレビ等の媒体でのPRが恒常的にできるようになりました。アサヒビールからの支援金ををいただいたことでそれを基金として、タオルやマスコットを制作し、コンスタントに販売しております。福岡での島外PR活動は花畑園芸公園のイベントで対州馬の乗馬体験、島内では臨海道路開通式や、土木の日のイベントなど新たなふれあいイベントに積極的に参加し、広報等で掲載されました。</p> <p>観光地環境整備についても、緊急雇用対策事業の取り組みにより、目保呂ダム馬事公園、千俵蒔山、あじさいロード等の環境地の整備ができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>対州馬の保存管理活用については、保護活用のための環境整備（ハード）面と、推進体制の整備（ソフト）面を合わせた事業の取り組みを実施していく必要があります。</p> <p>事業効果は継続性が重要となるため、関係する機関や民間団体、地域ボランティアの協力を得て、実施していくことが必要と考えています。</p> <p>対州馬保存管理基本計画については、関係機関と協議し、次年度での策定を目指します。</p>	

全体	No.5 2
個別	013-01

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	自然環境の保持及び農林水産業の担い手の育成
	1. 組織目標	<p>【内容】 自然とふれあいながら農林水産業の生産活動を子どもたちに体験してもらい、自然や資源への理解を深め、次世代の担い手育成につなげます。</p> <p>【指標】 上対馬管内の小学校3校すべてにおいて農林水産業の体験事業を実施します。 ・稚貝や稚魚の放流体験 ・魚さばき体験 ・しいたけの採取体験 ・田植え、収穫体験</p>
	2. 実績(成果)	<p>○豊小学校魚さばき体験事業 (H26. 2. 26実施、5～6年生親子22名)</p> <p>○比田勝小学校ヒラメ稚魚放流事業 (H25. 7. 12実施、5年生26名、1,000匹放流)</p> <p>○南陽小学校魚さばき体験事業 (H25. 7. 3実施、全学年親子31名)</p> <p>○比田勝小学校米の田植え体験事業 (H25. 6. 6実施、5年生26名)</p> <p>○比田勝小学校米の収穫体験事業 (H25. 10. 19実施、5年生26名)</p>
	3. 評価	○
		<p>上対馬管内の小学校3校すべてにおいて、5回の体験事業を実施し、子どもたちに学習の場を提供することができましたが、しいたけの採取体験については、学校との日程調整ができず実施することができませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>今後も漁協等関係機関との連携、「舟志の森自然学校」の活用により、農林水産業の体験事業を継続し、数多くの子どもたちが自然とふれあいながら学習できる場を提供し、農林水産業の担い手育成に努めます。</p>

全体	No.53
個別	013-02

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 上対馬の豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進することにより、交流人口を増やし、産業を活性化させることで、地域の雇用拡大・消費拡大を図り、賑わいを取り戻すことを目指します。</p> <p>【指標】 ○市道改修（3路線）、遊歩道改修、豊砲台跡内部改修、ひとつばたご保護ワイヤーメッシュ柵設置 ○「舟志の森自然学校」来客数 2,000人</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>○市道改修（3路線）、遊歩道改修、豊砲台跡内部改修、ひとつばたご保護ワイヤーメッシュ柵設置</p> <p>○「舟志の森自然学校」来客数 851人</p>	
	3. 評価	△
	<p>○観光ルート整備事業については、一部繰り越しており本年度中にすべての事業が完成予定です。</p> <p>○「舟志の森自然学校」については、ツシマヤマネコの生態研究事業者の減少や、もみじ街道ウォーキング大会などのイベントが行われなかったことにより、大幅に来客数が減少しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>○観光ルート整備事業については、今年度中にすべての事業が完成しますので、北部観光の拠点として市民や観光客の利用促進を図ります。</p> <p>○「舟志の森自然学校」については、体験メニューの充実を図るとともに、島内外へ積極的なPRを行い、利用客の増加を図ります。</p>	

全体	No.54
個別	013-03

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	住民生活課
----	-------

No.	項目	窓口サービスの適正・迅速化
	1. 組織目標	<p>【内容】 職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上に努めます。</p> <p>【指標】 窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指します。</p>
	2. 実績(成果)	<p>窓口・電話対応においては、全職員が協力し迅速で親切・丁寧な対応を心がけました。その結果、窓口・電話対応に対する市民からの苦情はありませんでした。</p>
	3. 評価	○
		<p>朝礼などにより職員相互間の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができました。 また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情は寄せられませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>接遇においてベストはないと思います。なお一層の窓口・電話対応の向上に努めていきます。</p>

全体	No.55
個別	014-01

平成25年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	総務課（消防団）
-----	----------

No.	項 目	地区消防団の統合及び車両の適正配置の推進
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>消防団員の減少に伴い、若者や女性の入団を促進し増員を図るとともに、分団員数の減少若しくは職場等の都合により災害時において消防団活動に影響のある分団は、隣接分団と統合し部制を敷くとともに地区消防団のブロック化を行い地域に適応した分団及び車両を配備し、迅速かつ的確な分団活動が行われるよう、消防団組織等改革推進委員会で協議を行い、分団統合、車両の適正配置を進めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成25年4月1日の対馬市消防団の分団数67分団を60分団とします。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>本年度は、厳原地区14分団が11分団、豊玉地区14分団が12分団、上対馬地区13分団が12分団にそれぞれ統合されました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>組織等改革推進委員会の提案により、分団統合が進み対馬市消防団67分団から61分団となりました。</p> <p>統合した分団にあつては団員数が増加し、分団活動が活性化しました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>消防団組織等改革推進委員会で協議を行い、統合が進まない地区は統合を進め、終了後車両の適正配置について協議します。</p>

全体	No.56
個別	014-02

平成25年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	警 防 課
-----	-------

No.	項 目	応急手当の普及啓発活動																																										
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>自分の家族は勿論、「身近な人は自分で守る」を主眼とし、応急手当（人工呼吸・胸骨圧迫・AEDの使用）の重要性から応急手当の講習会を毎週土曜日の終日に拡大し消防庁舎に来署いただき実施します。</p> <p>普通救命講習（3時間講習）及び負担の少ない救急法の指導（1時間程度の講習）を受講者が希望する日、場所において実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>受講者延べ人員、約2,500名に受講していただく。</p>																																										
	2. 実 績 (成 果)	<p style="text-align: right;">1月～12月の統計</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">講習種別</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">23年中</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">24年中</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">25年中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">総受講者数</td> <td style="text-align: center;">58回</td> <td style="text-align: center;">1,232名</td> <td style="text-align: center;">91回</td> <td style="text-align: center;">1,627名</td> <td style="text-align: center;">89回</td> <td style="text-align: center;">1,723名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通救命講習</td> <td style="text-align: center;">21回</td> <td style="text-align: center;">283名</td> <td style="text-align: center;">41回</td> <td style="text-align: center;">521名</td> <td style="text-align: center;">35回</td> <td style="text-align: center;">530名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">救急法講習</td> <td style="text-align: center;">37回</td> <td style="text-align: center;">949名</td> <td style="text-align: center;">50回</td> <td style="text-align: center;">1,106名</td> <td style="text-align: center;">54回</td> <td style="text-align: center;">1,193名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">※参考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">BLS普及会実績</td> <td style="text-align: center;">一回</td> <td style="text-align: center;">一名</td> <td style="text-align: center;">一回</td> <td style="text-align: center;">一名</td> <td style="text-align: center;">10回</td> <td style="text-align: center;">208名</td> </tr> </tbody> </table> <p>市民がAEDを利用した、救急事案（平成25年度） ◎市設置分 4件 ◎民間施設設置分 3件（内、適応有り 3件） 救急隊搭載の半自動除細動器（AED）にて、社会復帰事案 1件あり</p>	講習種別	23年中		24年中		25年中		総受講者数	58回	1,232名	91回	1,627名	89回	1,723名	普通救命講習	21回	283名	41回	521名	35回	530名	救急法講習	37回	949名	50回	1,106名	54回	1,193名	※参考							BLS普及会実績	一回	一名	一回	一名	10回	208名
講習種別	23年中		24年中		25年中																																							
総受講者数	58回	1,232名	91回	1,627名	89回	1,723名																																						
普通救命講習	21回	283名	41回	521名	35回	530名																																						
救急法講習	37回	949名	50回	1,106名	54回	1,193名																																						
※参考																																												
BLS普及会実績	一回	一名	一回	一名	10回	208名																																						
	3. 評 価	△																																										
		<p>AEDの設置場所の把握が徐々に市民に浸透して来ており、心肺停止患者発生時に利用されている状況です。</p> <p>CATVや市報をとおしてAED使用方法の広報を実施するとともに普通救命講習や救急法の指導を25年度も推進してまいりましたが、前年比100名弱の増加に留まり、指標受講者数に達し得ませんでした。</p>																																										
	4. 今 後 の 展 開	<p>従来、AEDは民間施設に事業者独自による設置が図られて、市当局としても教育委員会による学校や関係部署への設置事業が進められました。更に、24年度から3カ年計画で健康増進課が事業を進め、消防署から遠隔の地に50基のAEDを設置、官民合わせると設置総数は173基となっています。本年度も事業を医療対策課が引継、27基設置が予定されています。「突然死」を防ぐうえでAEDの使用効果は医学的に認められているところであります。</p> <p>今後とも事業所、学校等に受講機会を築いてもらうように推し進めていかなければなりません。</p>																																										

全体	No.57
個別	014-03

平成25年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	通 信 課
-----	-------

No.	項 目	消防救急無線のデジタル化
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>電波法関係審査基準が改正され、消防機関が使用する消防救急アナログ無線の使用期限が平成28年5月31日迄とされています。このことから消防無線のアナログ方式からデジタル方式への移行を平成27年度までに実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>【今年度】 実施設計業務及び整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務の完結を受け、平成25年度の地方債（緊急防災減災債）を活用して整備します。 ・実施設計業務を完結し、整備業務について予算化後、入札及び契約を行います。 ・契約締結後は、整備についての打合せ等を行います。
	2. 実 績 (成 果)	<p>設計業務を7月31日で完結し、整備予算が9月議会で承認されたことにより、12月10日に4社参加の制限付き一般競争入札を行い、落札した日本無線株式会社九州支社と12月18日に本契約を締結しました。</p> <p>12月19日から事業を開始し、総務省九州総合通信局への免許申請に向け必要な資料等の作成に着手し、基地局の工事等に関しては対馬市建設課との連携を図りながら、効率的な整備に向け取り組みました。</p>
	3. 評 価	○
		概ね計画通りに進捗しています。
	4. 今 後 の 展 開	<p>事業開始後工程表を作成し、定期的に工程会議を開催しています。</p> <p>今後も運用開始までに工程会議を毎月開催してその中で遅れを取り戻し、機器の低廉化をふまえ各システムの製造及び設置について再検討した上で業務の完結を目指します。</p>

全体	No.58
個別	014-04

平成25年度 [対馬市消防本部] 目標の成果

課 名	予 防 課
-----	-------

No.	項 目	住宅用火災警報器設置促進広報及び効果的な立入検査の実施
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 広報やイベントを通して市民に住宅防火を訴え、住宅用火災警報器設置率50%未満に低迷している9地区への重点的指導により早期設置を促進します。 2 火災発生時の人命危険が高い施設等に対する効果的な立入検査を実施し、一層の防火安全対策の徹底を図ります。 <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住宅用火災警報器の有効性をPRし、設置率が低迷している地区への重点的指導により全地区50%以上の設置率を目指します。 2 自力避難困難者が入居及び出入りする73施設に対して年1回以上の立入検査を実施し、防火安全対策の指導徹底を図ります。
	2. 実績(成果)	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防運動及び防火イベント時に住宅用火災警報器設置促進広報実施。住宅用火災警報器設置率50%未満であった9地区が5地区に減少。 2 火災発生時の人命危険が高い73施設の立入検査を実施し、違反指摘事項があった18施設に対して違反指摘事項の改修を図りました。(違反指摘改修率95%)。
	3. 評 価	○
		<p>住宅用火災警報器設置促進は目標指数の半数にとどまりましたが、効果的な立入検査の実施については73施設を立入検査し、違反のある18施設において違反指摘事項の95%が改修でき概ね目標指標に達する事ができました。</p> <p>市民の安全・安心を確保するために更なる住宅用火災警報器設置促進に取り組む必要があります。</p>
	4. 今後の展開	<p>住宅用火災警報器設置促進のため、建物(住宅)火災発生直後の設置指導、火災予防運動や広報を通じた設置率の向上を図ります。</p>

全体	No.59
個別	015-01

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	総務課
----	-----

No.	項目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成23年2月4日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け、対馬市立小学校、中学校及び幼稚園の統廃合の中期計画及び長期計画を策定し、計画に基づき住民説明会等を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合校 1校 ・統合園 1園 	
	2. 実績(成果)	
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、保護者説明会及び地区住民説明会を実施し、対馬市立南陽小学校を対馬市立東小学校に統合することについて各地区と合意し、平成26年4月1日に統合しました。また、巖原幼稚園と久田幼稚園の統合について、関係地区の合意のもと巖原地区に新園舎を建設し、平成26年4月1日に統合しました。</p>
	3. 評価	○
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、学校統廃合を進め、計画どおり関係地区の合意を得て、統廃合を実施いたしました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬市立学校及び幼稚園統合計画をもとに保護者及び地区住民の理解を得ながら学校統廃合を推進します。併せて子どもたちが安全で安心に学校生活を送れるように施設の環境整備を進めていきます。</p>

全体	No.60
個別	015-02

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

No.	項目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>【一人一人を大切にした教育活動の推進】</p> <p>1 基礎学力の定着と学校図書館の充実</p> <p>2 特別支援教育の充実</p> <p>3 不登校児童生徒対策の充実・推進</p> <p>【指標】</p> <p>1 (1)学校訪問をのべ17校実施 (2)学校図書館支援員を小学校20校、中学校8校に配置 (3)中学校基礎学力向上研究推進事業の実施 (4)対馬市独自の研究指定校制度の実施(7校1園で研究) (5)つしまテレビ学習塾(5月～3月計40回:CATV)</p> <p>2 特別支援教育関係の研修会開催や連携体制づくり</p> <p>3 不登校対策に係る関係研修会の開催と連携体制づくり</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>1 (1)学校訪問を計画的に実施し、校長の学校経営力の向上と、教職員指導力の向上を図りました。</p> <p>(2)学校図書館支援員を配置することにより、多様な読書活動を企画・実施したり、図書館サービスの改善を図りました。</p> <p>(3)教科等指導法改善研修会を中学校理科・英語、小学校外国語活動で実施し、効果的な指導について研修ができたものと考えます。</p> <p>(4)8校(園)の幼稚園・小中学校に研究委託し、指導を行うとともに4校で研究発表会(中間2校・本発表2校)を行いました。</p> <p>(5)市内の小中学校教員等から16名を作成委員として3チーム編成で放送番組及びテキスト教材の一部修正を行い、テキストを前期・後期の冊子にまとめて配布しました。</p> <p>2 各種研修会を実施するとともに、関係機関との連携を図ることができました。</p> <p>3 担当者研修2回実施。スクールカウンセラーや相談員を年間通して派遣することができました。毎月実施している実態調査をもとに、各校での取組を強化し、不登校数の増加を防ぐことができました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>に内容の充実も図ることができました。</p> <p>(1)確かな学力の定着に向けて、教職員の指導力の向上をはかるため、教科指導法改善研修会等の各種研修会を実施し、成果を上げることができました。</p> <p>(2)特別支援教育を充実させるため、各種研修会と連携した会議実施や関係機関との連携を図るとともに、介助員を有効に活用することができました。</p> <p>(3)目標にあげた各事業については着実に実施でき、不登校者数の増加を防ぐことができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>今後とも各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画的に実施し、児童生徒の確かな学力の定着を図るために努力します。また、25年度の学力調査の結果を分析し、新たに対策を考えます。特別支援教育の更なる充実のために虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を図ります。また、26年度も不登校児童・生徒の減少に向けて取り組みの強化を図ります。</p> <p>「教室に居る子どもたちに届く」教育行政の推進に努めて行きます。</p>	

全体	No.6 1
個別	015-03

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	生涯学習課
-----	-------

No.	項 目	スポーツ合宿、スポーツ交流等誘致促進事業
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>○国内外のトップレベルチームを誘致し、スポーツ教室・講演会等を通して、健康に対する意識の高揚、スポーツ人口の拡大、次代を担う子どもたちの心身の健全な育成と夢づくり等を目指します。また誘致団体の成績向上により、合宿地としての対馬市をPRします。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○合宿誘致予定団体：実業団、韓国スポーツ団体等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致団体数：2団体 ・合宿人数：1団体につき10人～15人 ・合宿期間：1週間～10日程度
	2. 実績(成果)	<p>○5月7日に合宿日程打合せを兼ね九電工へ会社訪問を行いました。陸上部監督が交代しており、監督間の引き継ぎ等が十分になされていなかったため、合宿スケジュールが組みこめませんでした。</p> <p>○1月～2月に韓国の大学野球チームが合宿を行う予定でしたが、直前に政治的理由からキャンセルとなりました。</p> <p>○その他、実業団や大学等と連絡をとりあったものの、補助金要綱変更に伴い補助対象とならなかったり調整がうまくいかず合宿の誘致に繋がりませんでした。</p>
	3. 評 価	×
		<p>○計画段階では合宿誘致を行い、スポーツ教室の開催やイベントの参加など本市におけるスポーツの振興に貢献する予定となっていました。各種団体ともに不測の事態が重なり実行することができませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>○今後も、継続してスポーツ合宿誘致を推進するとともに、受け入れ態勢の強化、体育施設整備による合宿環境の向上を要望しながら、誘致団体の増加に繋げていきます。</p>

全体	No.6 2
個別	015-04

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課 名	生涯学習課
-----	-------

No.	項 目	芸術文化鑑賞の機会充実及び市民文化活動の支援
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>○美術鑑賞機会の少ない対馬市において、県展入賞作品及び対馬市在住者の入賞作品を移動展するとともに、児童や学生を対象に専門家によるワークショップ・実演などを行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○長崎県美術展覧会公募展移動展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザインの7部門 ・入館者目標：1,000人
	2. 実績(成果)	<p>○ 作品出展数：97点 (日本画7点、洋画18点、彫刻6点、工芸8点、書17点、写真29点、デザイン12点)</p> <p>○ ワークショップ：(油絵教室) 厳原小学校5～6年生 25名</p> <p>○ 来場者数：1,269人</p>
	3. 評 価	○
		<p>作品については高度な素晴らしい作品を展示することができ、優秀な芸術作品の鑑賞機会の少ない本市において、市民の多くの方々に感動を与えられました。</p> <p>さらにワークショップでの油絵体験学習は、学校の授業では機会が少なく、子どもたちの発想を豊かにする貴重な体験となりました。</p>
	4. 今後の展開	<p>市内における文化活動団体とも連携を密にし市民美術展等における質の向上、新規出展者の発掘・拡大等に努めるとともに、一人でも多くの市民の皆様に文化芸術に関心を持っていただければと考えます。</p>

全体	No.6 3
個別	015-05

平成25年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	指定文化財の保護・活用を図ります
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①指定文化財の保存整備 ②文化財に係る防犯対策と情報発信 ③博物館及び郷土館・資料館の整備</p> <p>【指標】</p> <p>①史跡の保存整備（5カ所） ②文化財に係る防犯対策の強化と情報発信の実施（広報誌掲載12回、防犯装置設置5カ所） ③対馬歴史海道博物館（仮称）について具体的な計画の推進（関係機関協議12回、研修参加2回）</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>①ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。 ②市報に「わがまち再発見」記事を毎月掲載し、文化財に関する情報を発信しました。また、県指定、市指定文化財所蔵3箇所にセンサー、カメラ等防犯装置を設置しました。 ③博物館建設計画を進めるうえで必要な文化庁、長崎県、市関係課との協議（12回）を行いました。また、職員のスキルアップに必要な研修に参加（2回）しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>①各史跡の保存整備計画に従い、ほぼ計画どおり事業を実施出来ました。 ②文化財に対する情報発信を継続することで市民の意識を高めることが出来た他、文化財・景観写真コンテストの実施と合わせ、一層文化財に対する普及啓発が図られました。また、文化財所有者に防犯対策の重要性を理解していただき、補助金を活用して3カ所に盗難防止設備を設置することが出来、防犯上も非常に有効であると考えます。 ③博物館建設計画についての各機関との協議により、一定の前進はあったものの、</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>①史跡整備については、今後も保存整備計画に従い整備を続け、有効活用につなげていきます。 ②文化財の普及活動・情報発信については、市報で引き続き関係する記事を掲載していくことに併わせ、昨年度から開催している写真コンテストやその他様々な機会を通じて、情報発信、文化財保護に対する啓発を図っていきます。</p>	